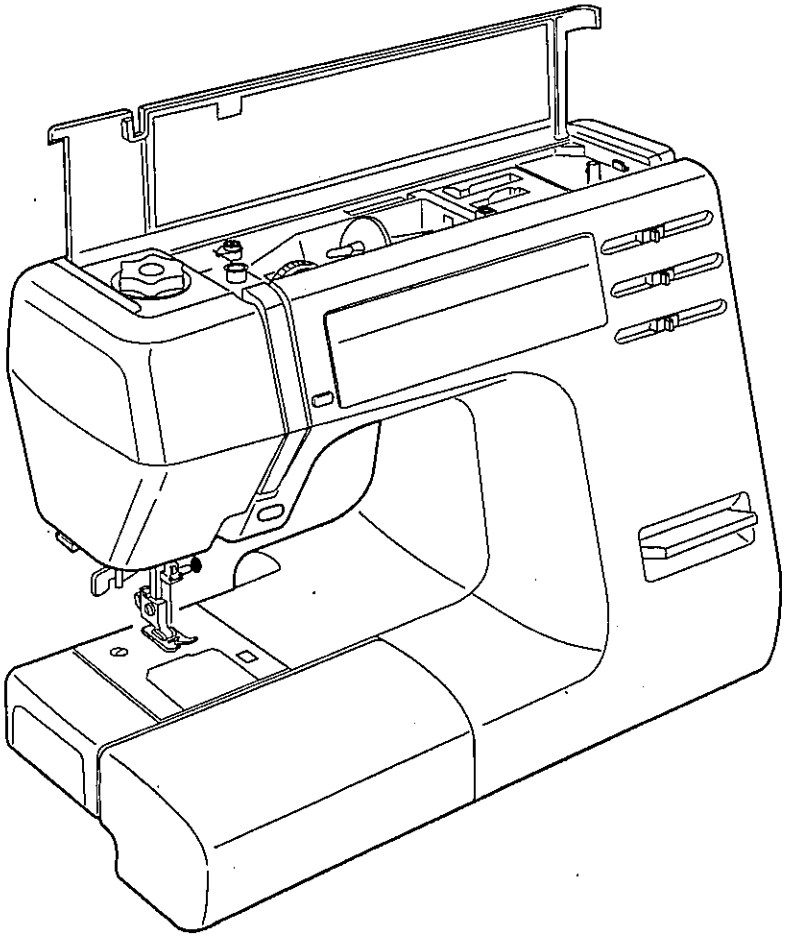
# 使い方の手びき

《取扱説明書》

# plaire 918S



JANOME

# 安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

## 絵表示の例

| | |
|---|---|
| | ⚠記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。<br>図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。 |
| | ⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。<br>図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
| | ❗記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。<br>図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。 |

## ⚠警告 感電・火災の恐れがあります。

❗ 一般家庭用　交流電源　100 Vでご使用ください。

以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。

・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

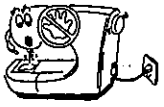
## ⚠注意 感電・火災・けがの原因となります。

【禁止】 フットコントローラーの上に物をのせないでください。

❗ ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。

お客様自身での分解はしないでください。

❗ お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。

ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。


❗ 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。
・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき
・上糸・下糸をセットするとき
・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。）
・ミシンのお手入れを行うとき

【禁止】 ぬい途中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。

【禁止】 曲がった針はご使用にならないでください。

❗ ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水に濡れたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い・音がするとき
・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

❗ 針及び押さえは、確実に固定してください。又、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

# ●目次

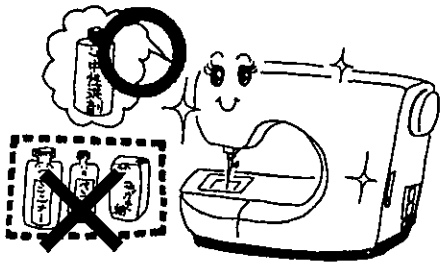

●おとり扱いについてのお願い ..... 2
●各部の名称 ..... 3
●補助テーブルの使い方 ..... 4
●標準付属品と収納場所 ..... 5
●操作方法 ..... 6〜19
◎電源のつなぎ方 ..... 6
★スタート・ストップボタンを使用する場合 ..... 6
★フットコントローラーを使用する場合 ..... 6
◎速さの調節の仕方 ..... 6
★スピードコントロールつまみ ..... 6
★フットコントローラー ..... 6
◎スタート・ストップボタン ..... 6
◎上下停針ボタン ..... 7
◎返しぬいボタン ..... 7
◎ランプのとりかえ方 ..... 7
◎押さえ圧ダイヤル ..... 7
◎ドロップつまみの使い方 ..... 8
◎押さえ上げ ..... 8
◎押さえのとりかえ方 ..... 8
◎押さえホルダーのはずし方、つけ方 ..... 8
◎送りジョーズ（別売品）の使い方 ..... 9
★送りジョーズのとりつけ方 ..... 9
★キルティングガイドのとりつけ方 ..... 9
◎針のとりあつかい ..... 10
★針のとりかえ方 ..... 10
★針のしらべ方 ..... 10
★布に適した糸や針を選ぶ目安 ..... 10
◎下糸の準備 ..... 11〜12
★糸こまのとりつけ ..... 11
★ボビンのとりだし ..... 11
★ボビンに糸をまく ..... 11
★ボビンのセット ..... 12
◎上糸のとりつけ ..... 13〜15
★上糸をかける ..... 13
★糸通しの使い方 ..... 14
★下糸の引き上げ ..... 15
◎糸調子のあわせ方 ..... 16
★自動糸調子 ..... 16
★マニュアル糸調子 ..... 16
◎模様選択ダイヤル ..... 17
◎振巾スライドつまみ（ぬい目の巾調節） ..... 17
◎送りスライドつまみ（ぬい目のあらさ調節） 17
◎直線ぬいの針落ち ..... 17
◎直線ぬい ..... 18
★ミシンのセット ..... 18
★ぬい始め ..... 18
★ぬい方向の変更 ..... 18
★ぬい終わりの返しぬい ..... 18
◎厚手の布のぬい始め方 ..... 19
◎針板ガイドラインの利用 ..... 19
◎コーナーリングガイドの利用 ..... 19
●いろいろな実用ぬい ..... 20〜38
◎ジグザグぬい ..... 20
◎ジグザグぬいたち目かがり ..... 20
◎かがりぬい ..... 21
◎トリコットぬいたち目かがり ..... 21
◎直線三重ぬい ..... 22
◎伸縮ぬい ..... 22
◎ボタンつけ ..... 23
◎オートボタンホールぬい ..... 24〜26
★引き続きオートボタンホールぬいをする場合 ..... 25〜26
★ぬい目のあらさ調節 ..... 26
★左右のぬい目のあらさがそろっていないとき ..... 26
◎芯入りオートボタンホールぬい ..... 27
◎ファスナーつけ ..... 28〜30
★ファスナー押さえのつけ方 ..... 28
★準備（例：左脇あきのぬい方） ..... 28
★ぬい方 ..... 29〜30
◎三つ巻きぬい ..... 31
◎くけぬい（まつりぬい） ..... 32
★ガイドのあわせ方 ..... 32
◎密着模様ぬい ..... 33
◎スーパー模様ぬい ..... 33
◎スーパー模様の形の整え方 ..... 34
◎スモッキング ..... 34
◎キルティング ..... 35
◎ピンタック ..... 35
◎シェルタック ..... 36
◎ファゴティング ..... 36
◎アップリケ ..... 37
◎パッチワーク ..... 37
◎スカラップ ..... 38
●ミシンのお手入れ ..... 39
◎かまと送り歯の掃除 ..... 39
◎内がまと針板の組みつけ ..... 39
●ミシンの調子が悪いときの直し方 ..... 40

# おとり扱いについてのお願い

## ◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

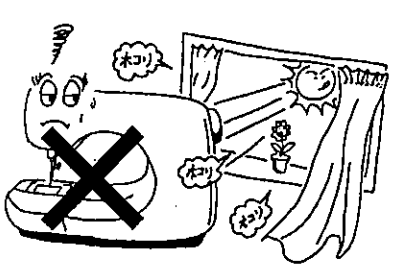


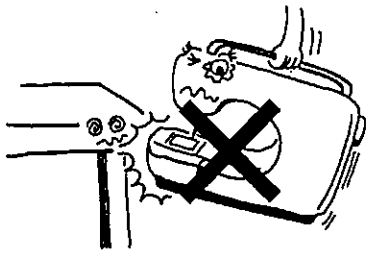
## ◇いつまでもご愛用いただくために

① 長時間日光に当てないでください。

② 湿気やほこりの多いところはさけてください。

③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

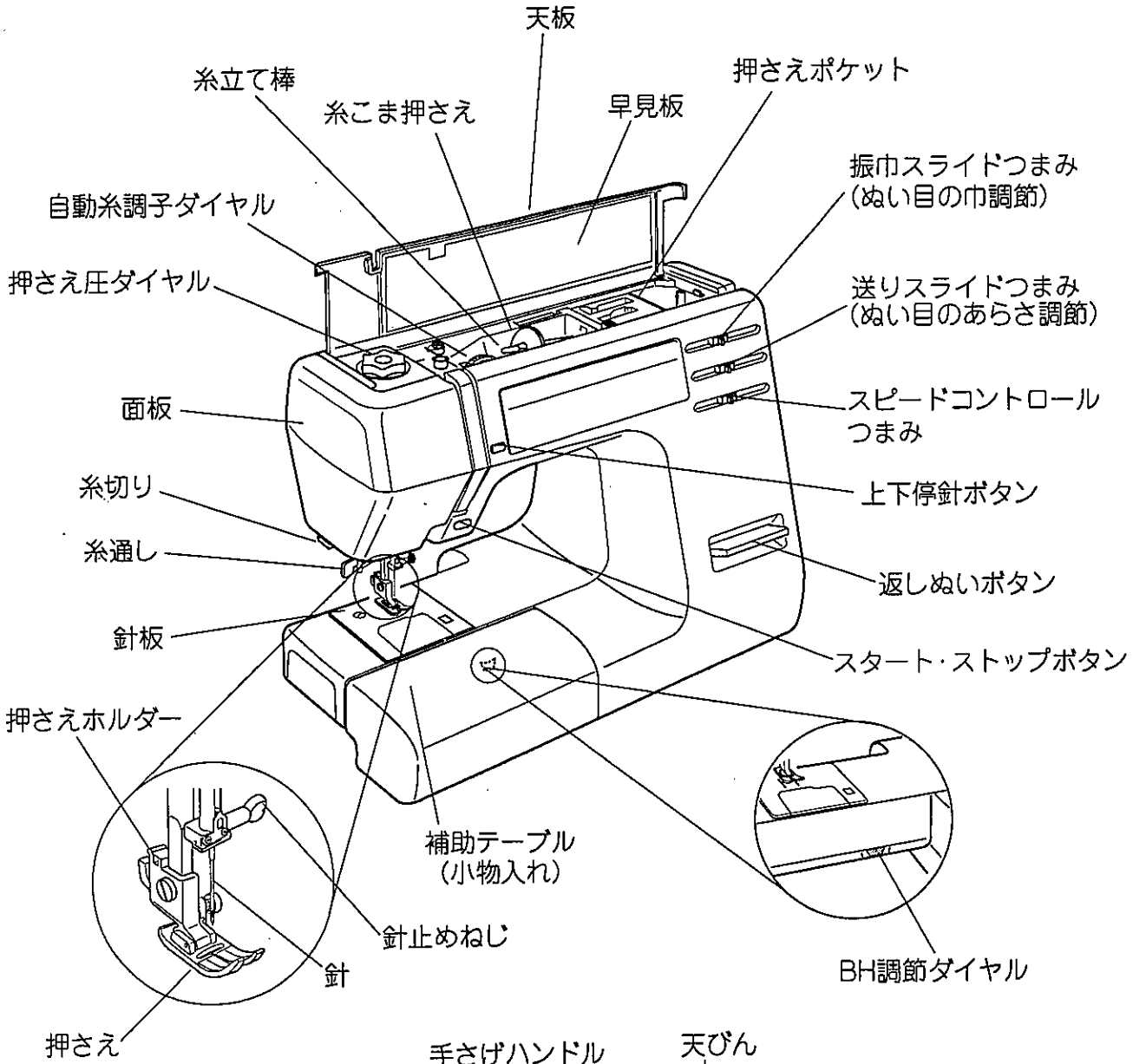


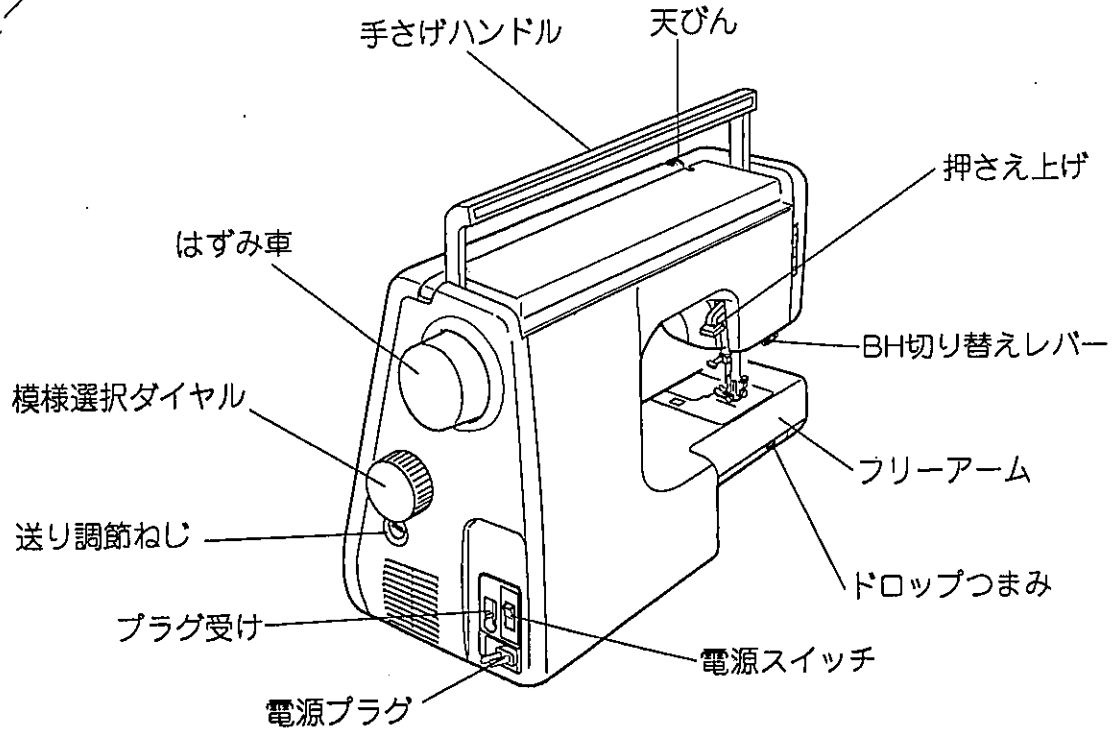



## ◇ 修理・調整についてのご案内

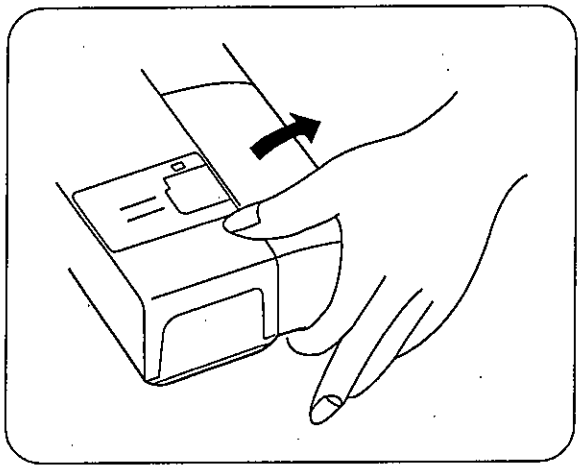
万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(40ページ) により点検・調整を行ってください。

## ●各部の名称


天板
糸立て棒
糸こま押さえ
早見板
押さえポケット
振巾スライドつまみ
(ぬい目の巾調節)
自動糸調子ダイヤル
押さえ圧ダイヤル
送りスライドつまみ
(ぬい目のあらさ調節)
面板
スピードコントロール
つまみ
糸切り
上下停針ボタン
糸通し
返しぬいボタン
針板
スタート・ストップボタン
押さえホルダー
補助テーブル
(小物入れ)
針止めねじ
針
BH調節ダイヤル
押さえ

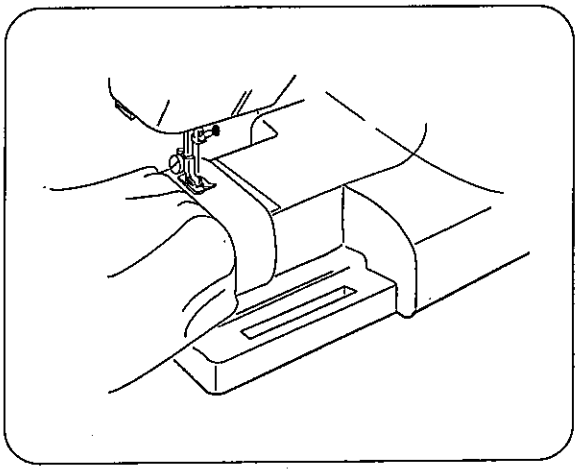

手さげハンドル
天びん
押さえ上げ
はずみ車
BH切り替えレバー
模様選択ダイヤル
フリーアーム
送り調節ねじ
ドロップつまみ
プラグ受け
電源スイッチ
電源プラグ

## ●補助テーブルの使い方



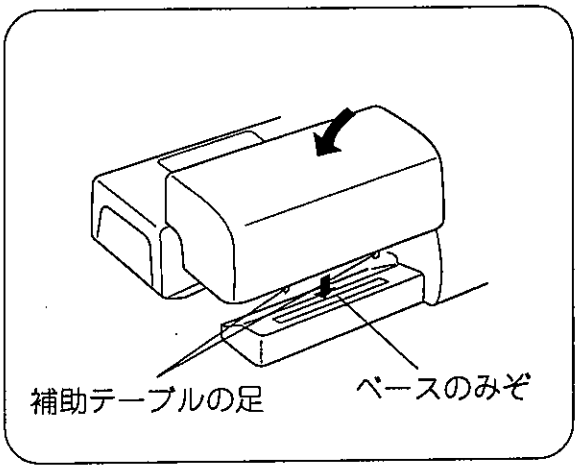
【はずし方】

補助テーブルの下側に手をかけて持ちあげます。



【フリーアームの使い方】

袖口やすそなどのぬい、およびふくろ物の口端の始末に利用します。

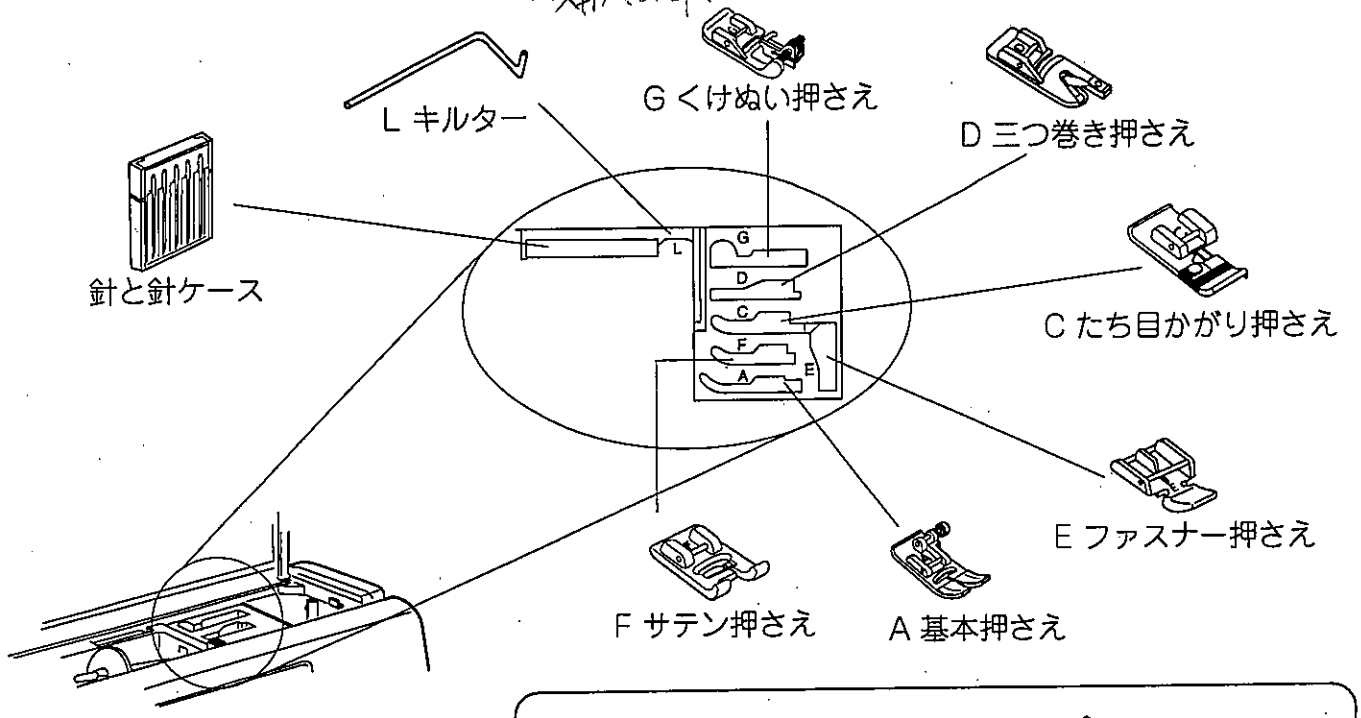


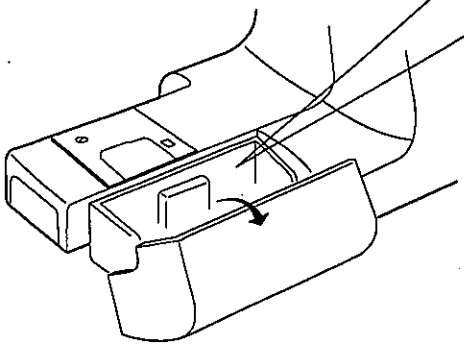

【つけ方】

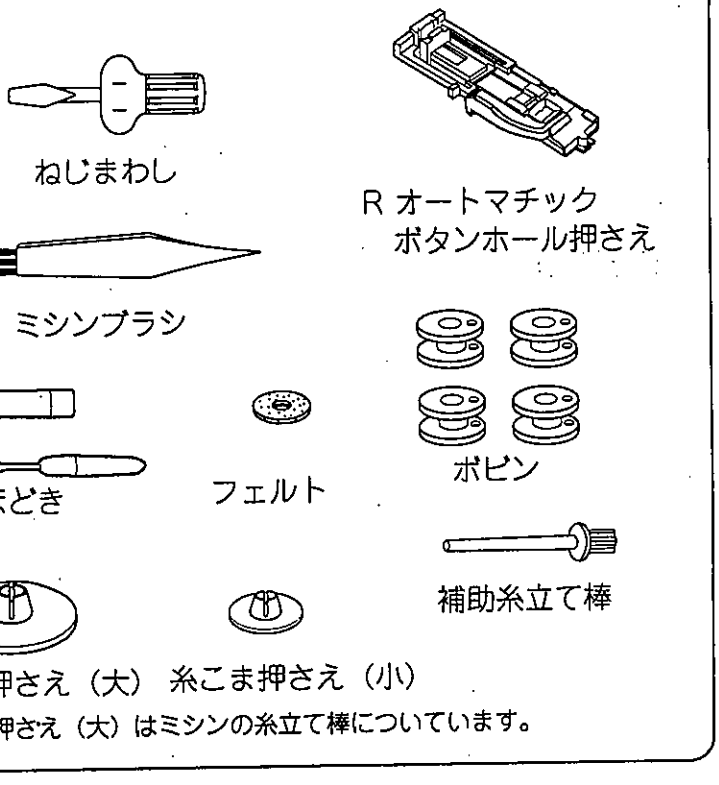
ベースのみぞに補助テーブルの足をあわせてのせ、上から軽く押します。

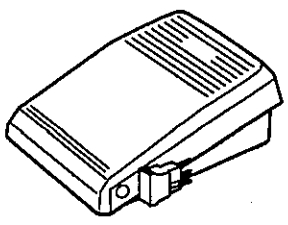
## ●標準付属品と収納場所

レバー式のホルダーでは、コンシールファスナー押さえ(溝巾5ミリ)が装着できない。赤いボタンのホルダーとセットで購入の事。

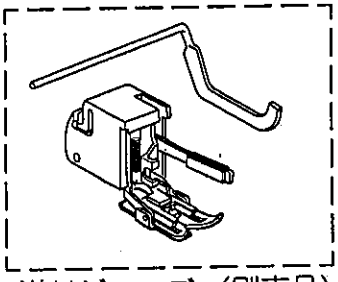




フットコントローラー
（別売品）

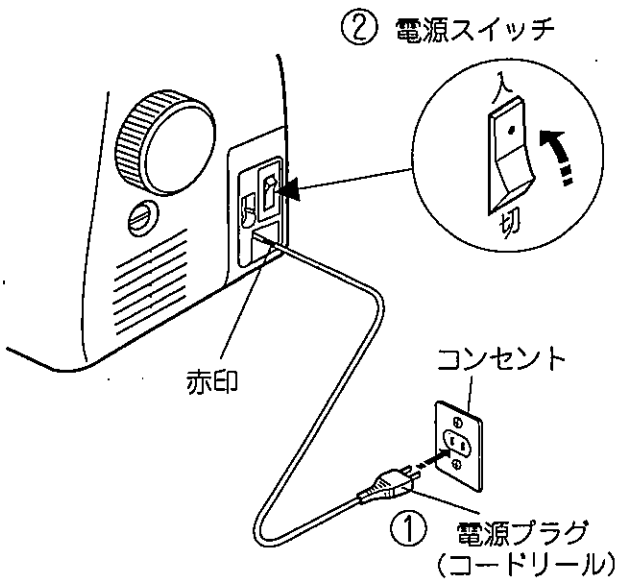


送りジョーズ（別売品）

## ●操作方法

### ◎電源のつなぎ方

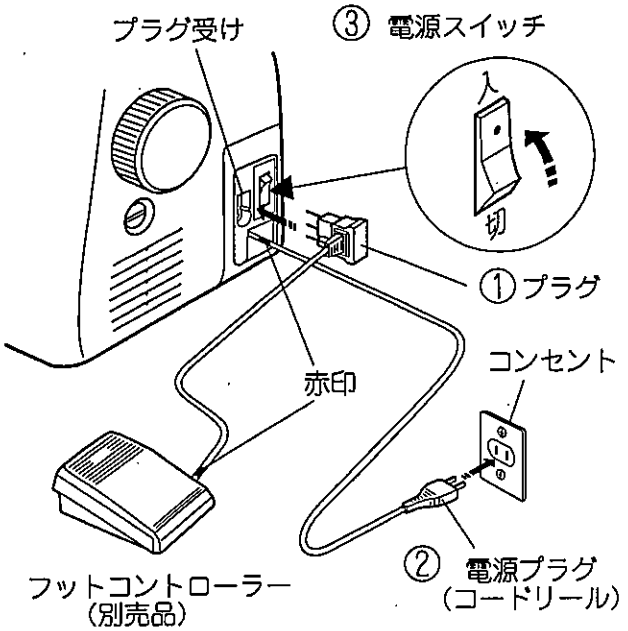
★スタート・ストップボタンを使用する場合




①電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。
②スイッチを「入」にします。

※コードは赤印以上は引き出さないでください。
※電源は一般家庭用（100V 50/60Hz）です。
※ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

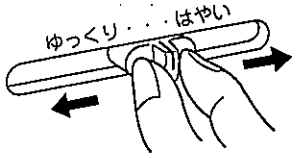
★フットコントローラーを使用する場合




①電源スイッチを「切」にして、プラグをプラグ受けに差し込みます。
②電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
③スイッチを「入」にします。

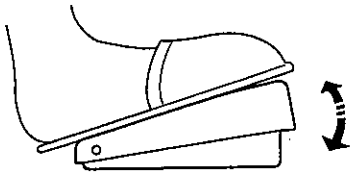
### ◎速さの調節の仕方

★スピードコントロールつまみ



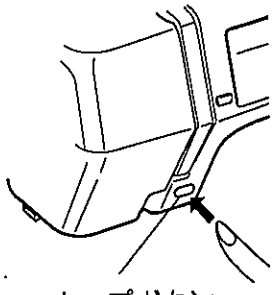

ぬう速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみをお好みの速さにセットしてください。

★フットコントローラー（別売品）



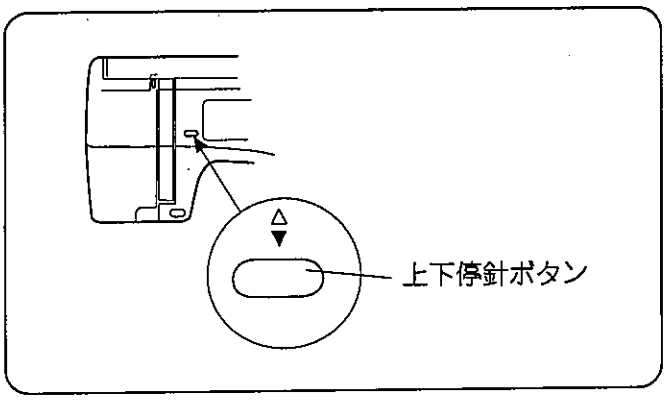
フットコントローラーは、深くふみ込むほど速くなります。
※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。

### ◎スタート・ストップボタン



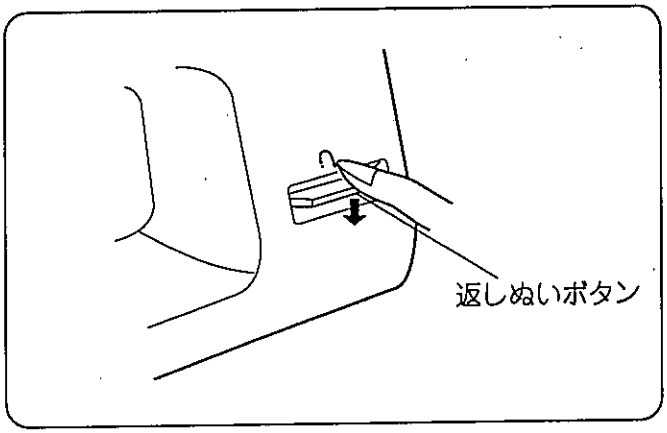

ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。もう一度押すと、針が上の位置で止まります。ミシンが動いている間に、電源プラグが抜けるなどして電源が切れたときは、ふたたび電源を入れてもミシンは動きません。もう一度スタート・ストップボタンを押してください。

## ◎上下停針ボタン




ミシンが止まっているときボタンを押すと、針が上位置から下位置に切り変わります。もう一度押すと、上位置に切り変わります。

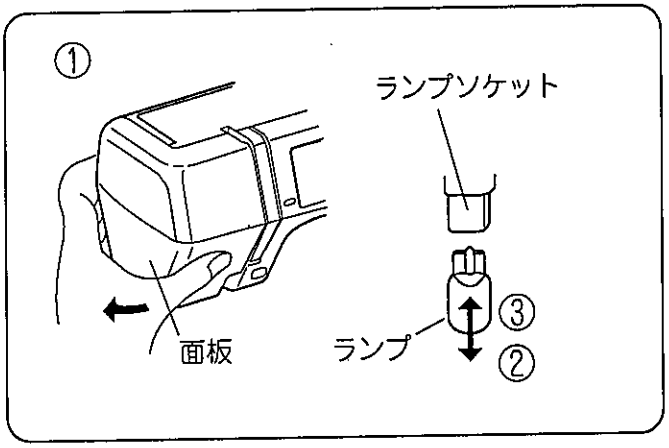
## ◎返しぬいボタン




返しぬいボタンを押すと、ミシンは低速で返しぬいを始め、指をはなすと止まります。ミシンを動かしている途中で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと前進ぬいにもどります。

※不用意に返しぬいボタンにふれると、ミシンが動き出しますので、ご注意ください。

## ◎ランプのとりかえ方



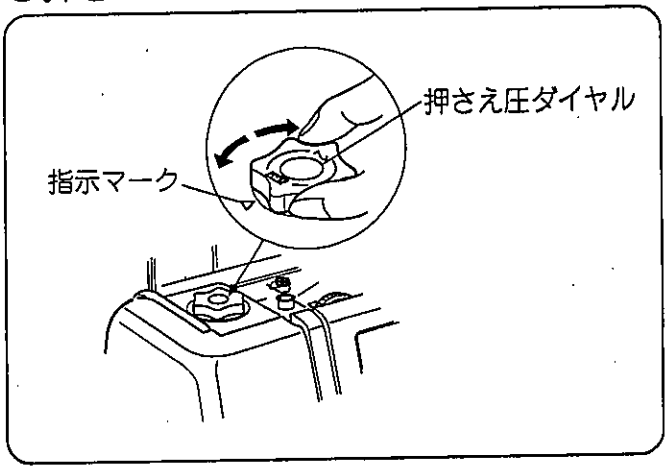

①面板を開けます。

②ランプをそっと引き抜きます。

③ランプをソケットの穴にあわせながら差し込みます。

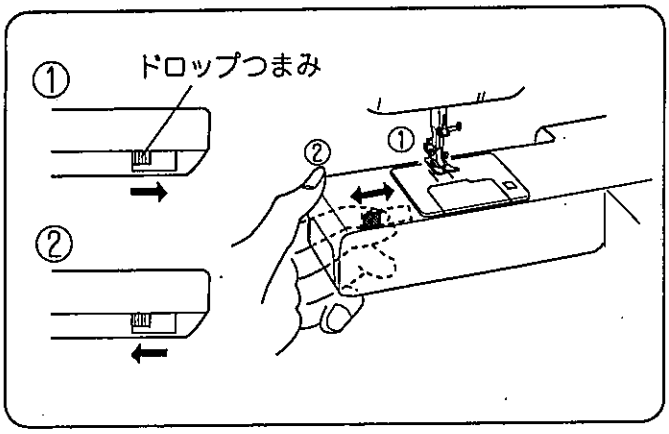
※ランプをとりかえるときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※ランプは冷えてからはずしてください。

## ◎押さえ圧ダイヤル




普通ぬいのときは、「3」。
うす手の化繊地や伸縮性のある布地などでぬいずれがあるとき、またはぬいしろ部分が重なりあうときは「2」または「1」。

## ◎ドロップつまみの使い方

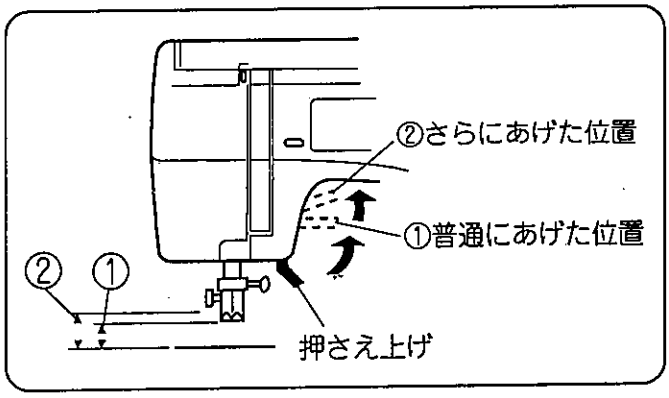



ボタンつけなどで送り歯をさげるときには、ドロップつまみを動かします。

①送り歯をさげた位置

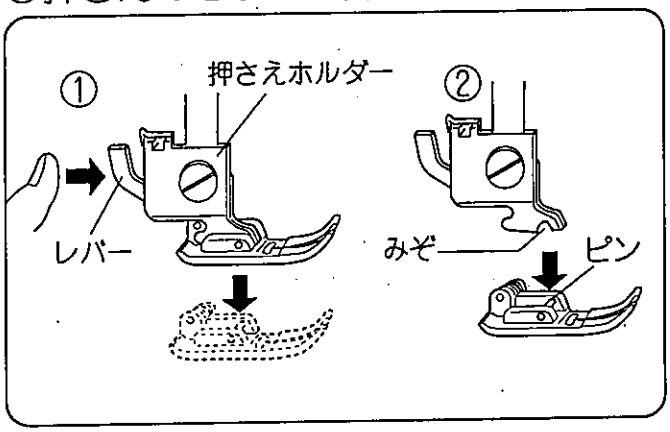
②送り歯をあげた位置

## ◎押さえ上げ




押さえ上げで、押さえの上げ下げをします。
押さえ上げを普通にあげた位置より、さらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

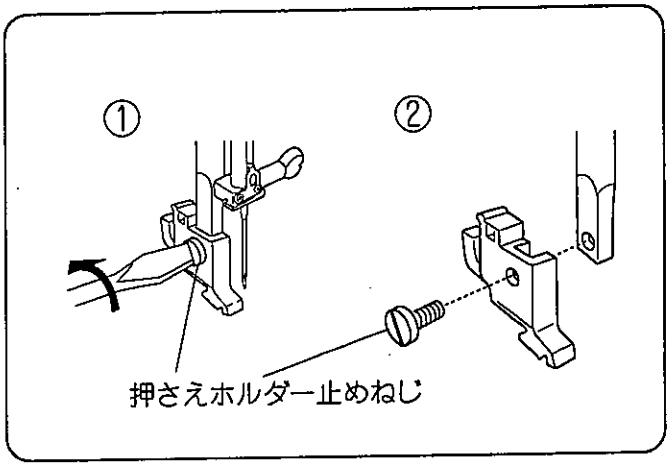
## ◎押さえのとりかえ方




①押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押して、押さえをはずします。

②押さえのピンを押さえホルダーのみぞにあわせて、押さえ上げを静かにさげます。

## ◎押さえホルダーのはずし方、つけ方

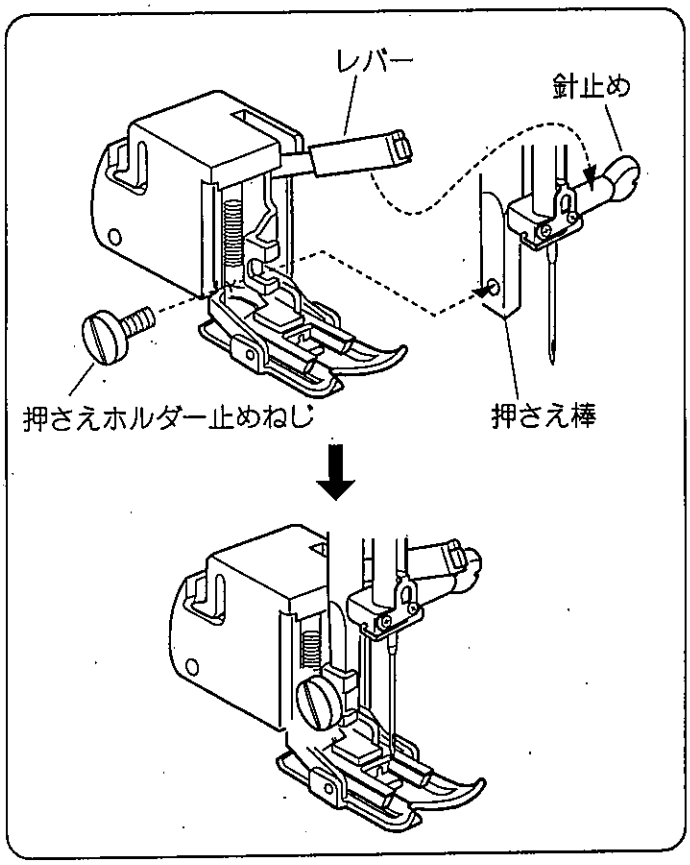



①押さえホルダーの止めねじを左にまわしてはずします。

②押さえホルダーの止めねじを右にまわしてつけます。

## ◎送りジョーズ（別売品）の使い方

### ★送りジョーズのとりつけ方

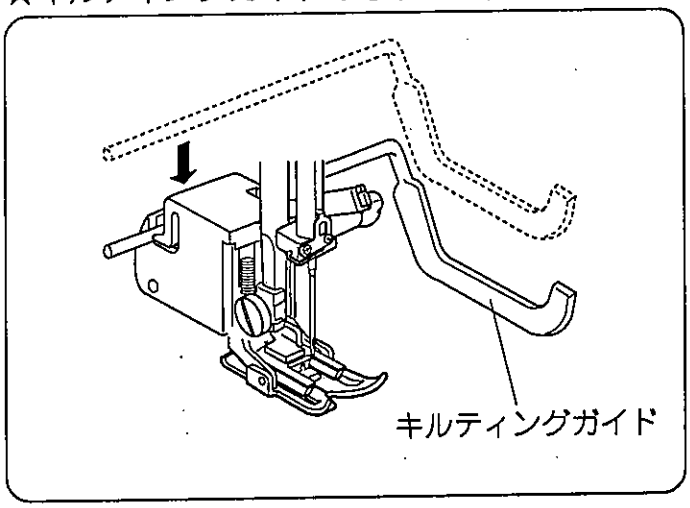



送りジョーズは、上下の歯で布をはさみながら布送りをするので、薄物、ニット地、ビニールレザー、皮革などの素材に使用するとぬいずれやぬいじわを防止するのに効果があります。また、キルティングガイドを使って、先にぬったぬい目をたどることもできます。

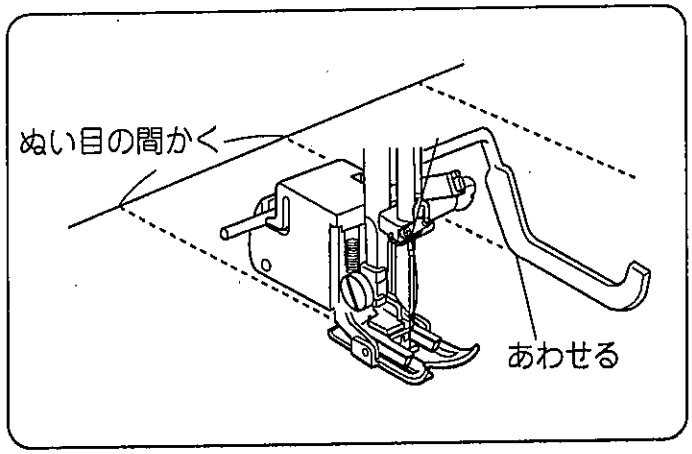
①針と押さえをあげます。
②押さえホルダー止めねじをゆるめて、押さえホルダーをはずします。
③レバーが針止めに乗るように送りジョーズを向こう側から押さえ棒にとりつけ、押さえホルダー止めねじでしっかりとしめます。

※低速から中速くらいの速さでミシンを作動させてください。

### ★キルティングガイドのとりつけ方



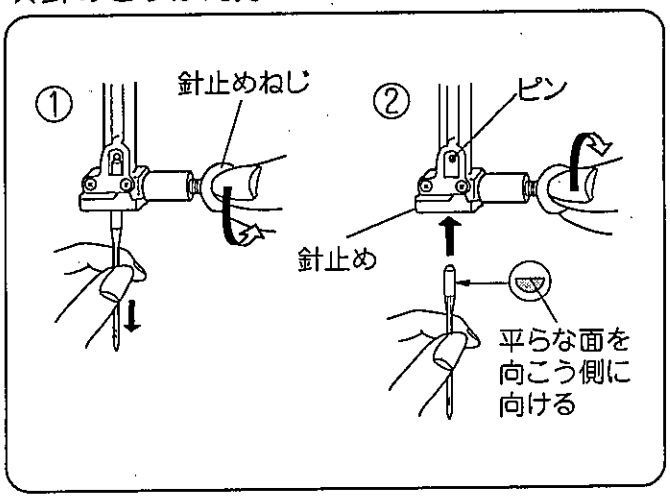

キルティングガイドを送りジョーズのみぞに、上から下へ押し込んで固定します。




ぬい目の巾にあわせて、キルティングガイドの左右方向の位置を調節します。

## ◎針のとりあつかい

### ★針のとりかえ方

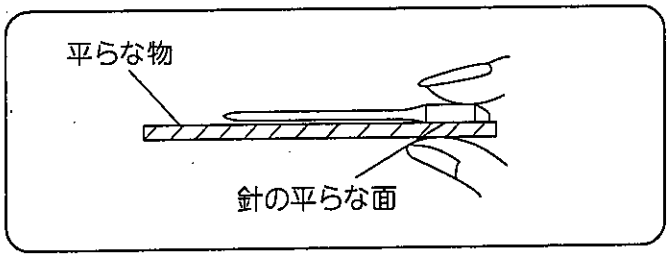



> ⚠ 針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

①針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針をはずします。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

### ★針のしらべ方




針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

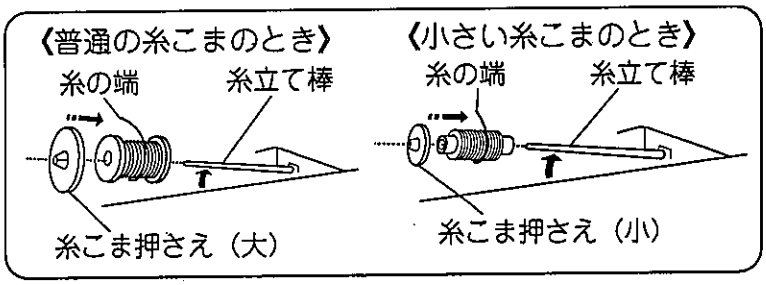
### ★布に適した糸や針を選ぶ目安

| 布 | | 糸 | 針 |
|---|---|---|---|
| うすい布 | ローン<br>ジョーゼット<br>トリコット<br>ウール・化繊布 | 絹　糸　８０番～１００番<br>綿　糸　８０番～１００番<br>化繊糸　８０番～１００番 | ９番～１１番 |
| 普通の布 | 普通木綿・化繊布<br>薄手ジャージー<br>一般ウール・化繊服地 | 絹　糸　５０番<br>綿　糸　６０番～８０番<br>化繊糸　５０番～８０番 | １１番～１４番 |
| | | 綿　糸　５０番 | １４番 |
| 厚い布 | デニム<br>ジャージー<br>コート地<br>キルティング | 絹　糸　５０番<br>綿　糸　４０番～５０番<br>化繊糸　４０番～５０番 | １４番～１６番 |
| | | 絹　糸　３０番<br>綿　糸　３０番 | １６番 |

※一般に、うすい布には細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。
この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。
※原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。
※伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー針を使用すると効果があります。
（市販ＳＰ針も同様の効果があります。）

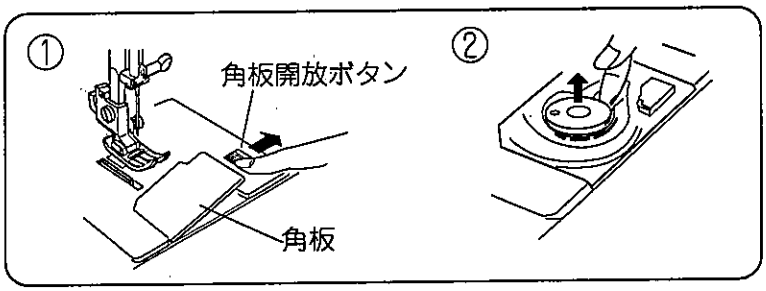
## ◎下糸の準備

### ★糸こまのとりつけ




糸立て棒を軽くおこし、糸の端が向こう側に出るようにして糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまをおさえます。

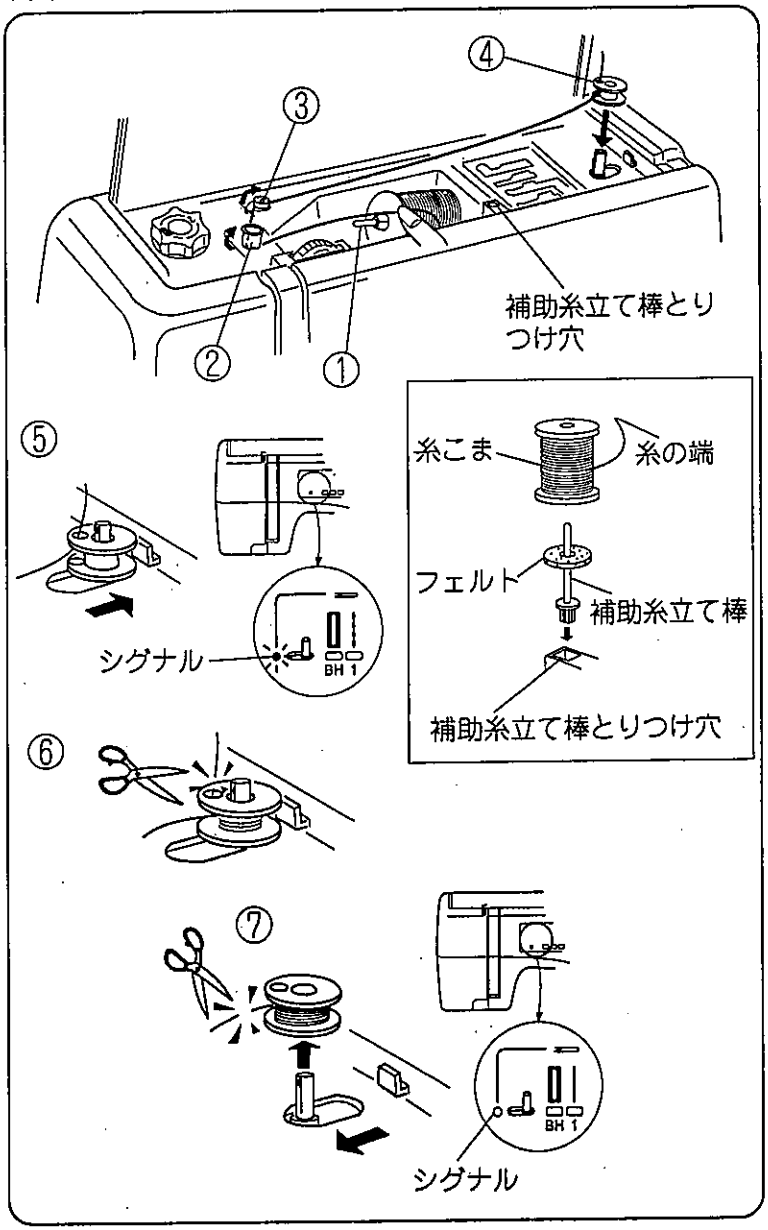
### ★ボビンのとりだし




①角板開放ボタンを右にずらして角板をはずします。

②ボビンをとり出します。

### ★ボビンに糸をまく




糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを「中速～高速」の間でご利用ください。

①糸立て棒を軽くおこし、糸の端が手前から向こう側に出るように糸こまをセットして、糸こま押さえでおさえます。
※糸こま押さえ（小）は小さい糸こまに使用します。

②1つ目の糸案内に、矢印にそって糸をかけます。

③2つ目の糸案内に、矢印にそって糸をかけます。

④ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

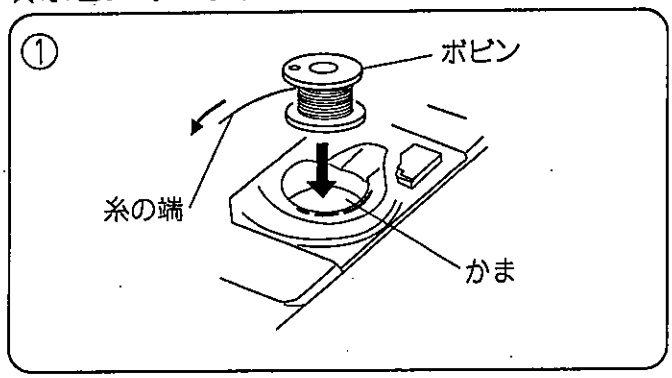
⑤ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。同時にシグナルが点灯します。

⑥糸の端をつまんだままミシンをスタートして、ボビンに糸が三重ほどまきついたら、ストップしてつまんでいる糸を切ります。

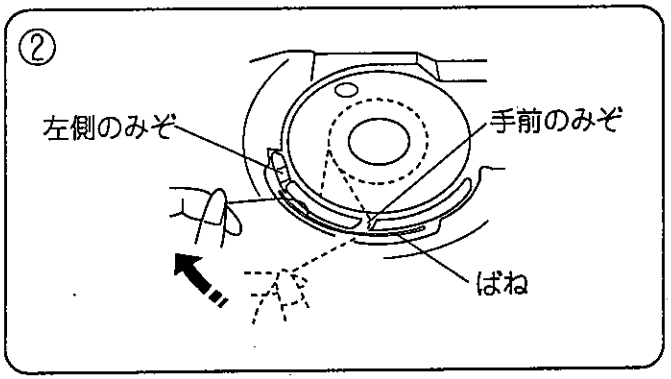
⑦再びスタートして糸をまき終わったら、ミシンを止め、糸巻き軸をもとにもどします。するとシグナルも消えます。
ボビンを糸巻き軸からはずして糸を切ります。

※補助糸立て棒での利用も出来ます。補助糸立て棒を使うときは、とりつけ穴にセットします。糸の端は向こう側から出るようにします。

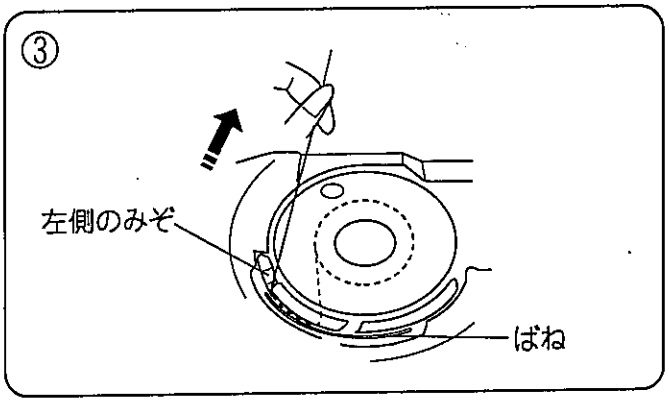
★ボビンのセット



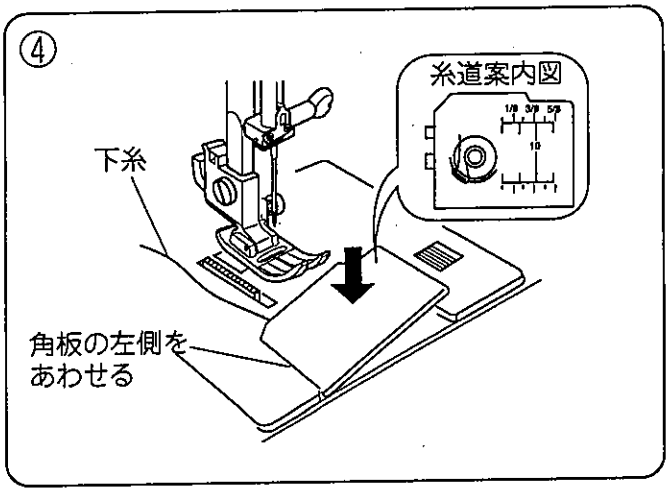

糸の端を矢印方向に出し、ボビンをかまに入れます。




糸の端を引きながら、手前のみぞにかけます。
糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞのところに出します。



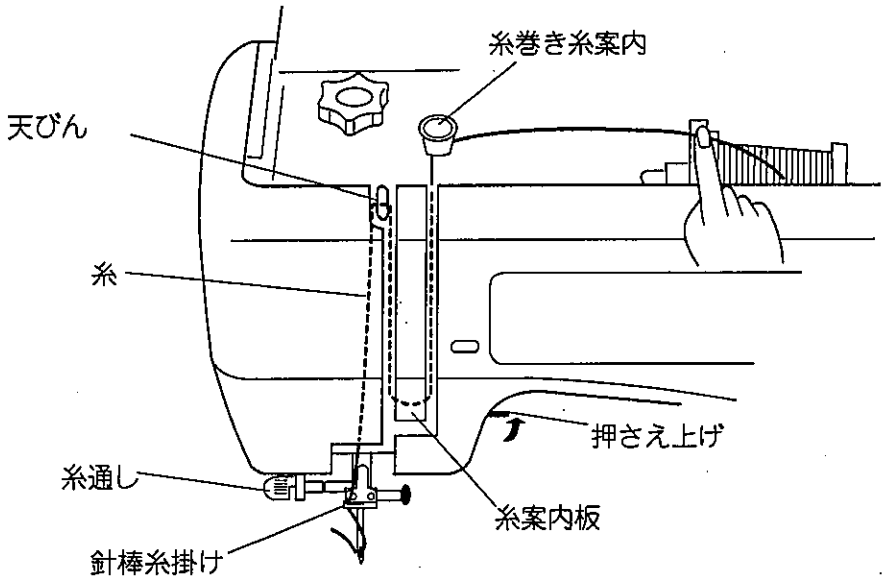

糸を左側のみぞにかけるように向こう側に出します。

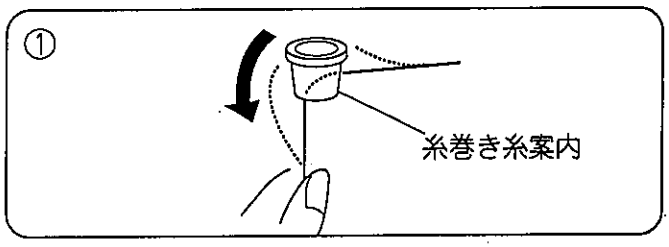



下糸は10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせてつけます。

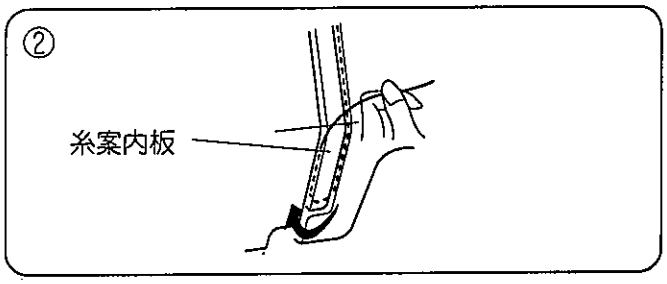
## ◎上糸のとりつけ

### ★上糸をかける

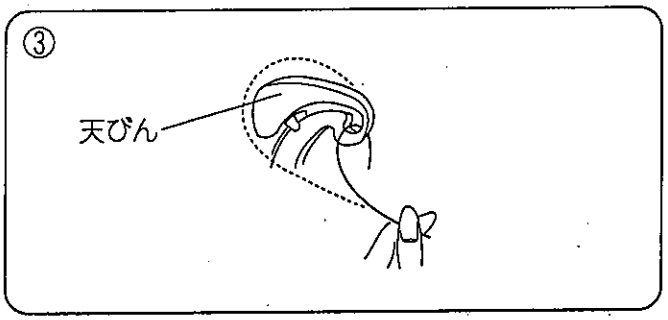


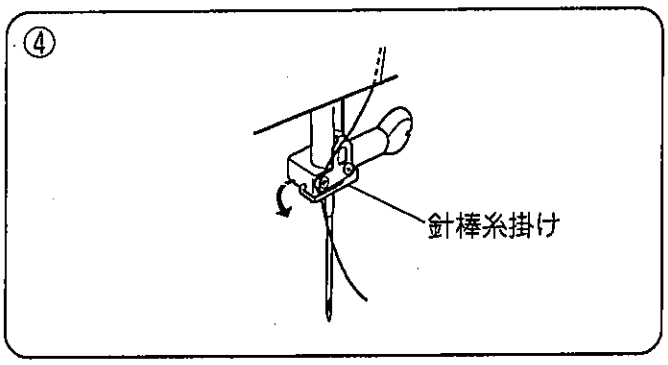

押さえ上げをあげ、糸こまから糸を引き出し、糸こまを軽く押えながら糸巻き糸案内の下にまきつけるようにしてかけ、糸案内板にそっておろします。




糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。



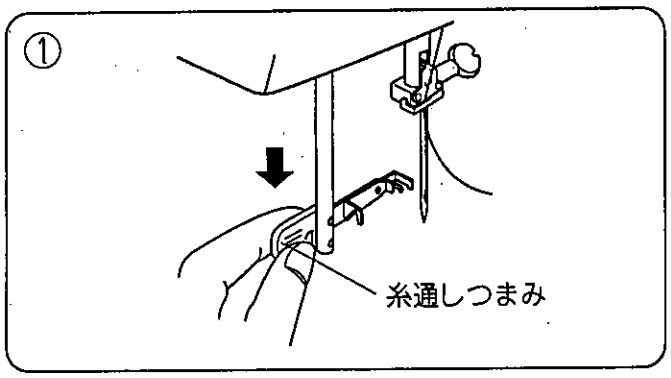

はずみ車を手前にまわし、天びんを上部にします。天びんの右から後へまわして左へ出し、手前に引き出して、まっすぐ下におろします。



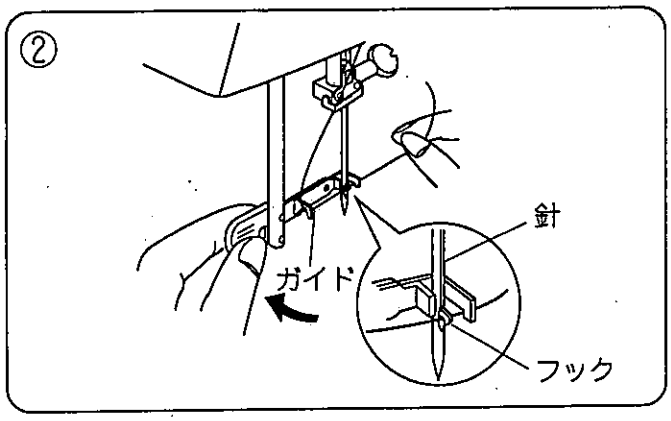

針棒糸掛けに左からかけます。

※針には糸通しを使って糸を通します。
糸通しの使い方は14ページをごらんください。

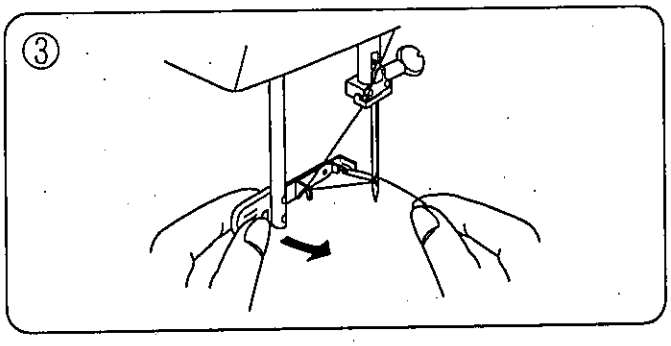
★糸通しの使い方



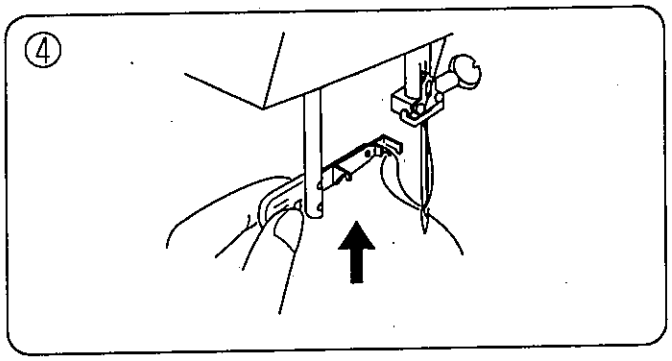

針を一番上にあげて、糸通しつまみを止まるまでいっぱいに引きさげます。



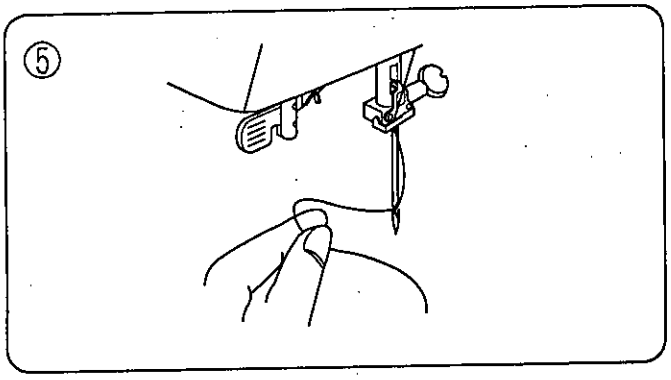

つまみを矢印方向へまわしてフックを針穴に入れ、糸をガイドとフックにかけます。




つまみを矢印方向にまわすと、糸が輪になって出てきます。

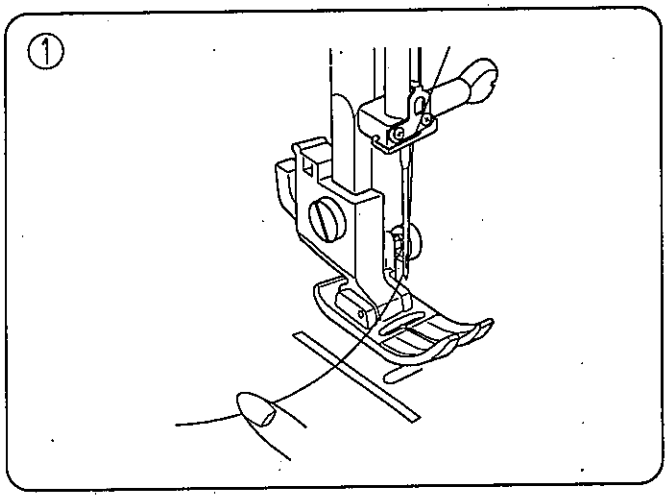



つまみを静かに押しあげ、糸の輪を引きあげます。

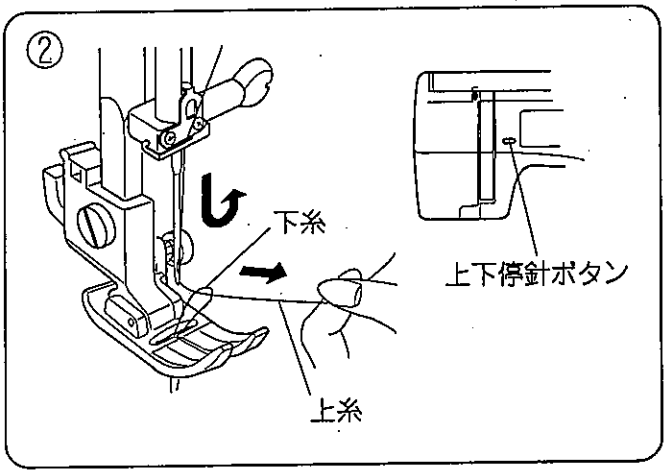



糸の輪を糸通しからはずし、針穴から端を引き出します。

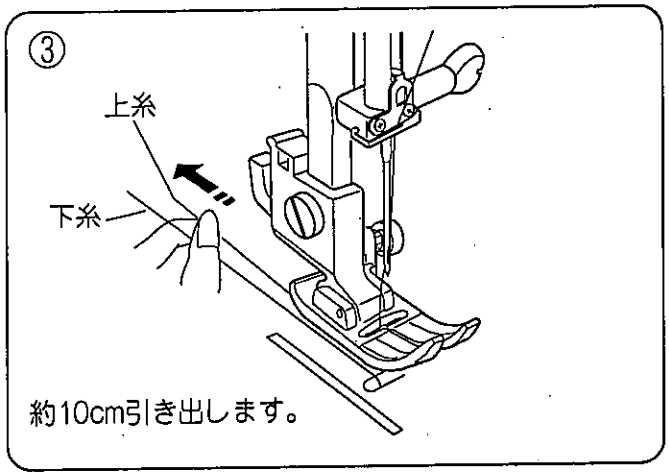
★下糸の引き上げ




押さえ上げをあげて、糸の端を指で押さえておきます。



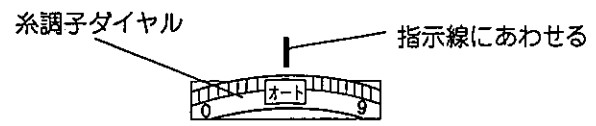

上下停針ボタンを２度押し、針をあげます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。




上糸・下糸を押さえの下にして、後へそろえて出します。

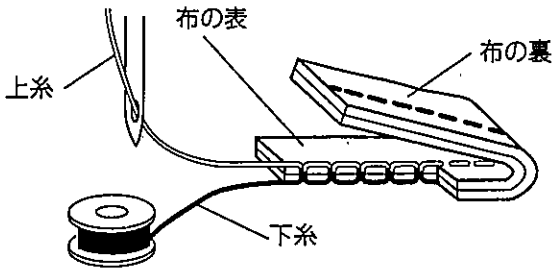
## ◎糸調子のあわせ方

### ★自動糸調子




このミシンは、糸調子ダイヤルを「オート」にあわせると、普通ぬいのときにバランスよくぬえる糸調子に自動セットされます。

《バランスのとれた糸調子》

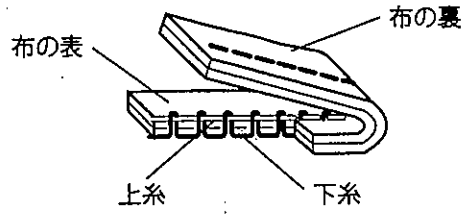



直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。
ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

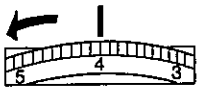
### ★マニュアル糸調子

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルを「0〜9」にあわせると、マニュアル糸調子となり、上糸と下糸の交わる位置を自由に調節できます。

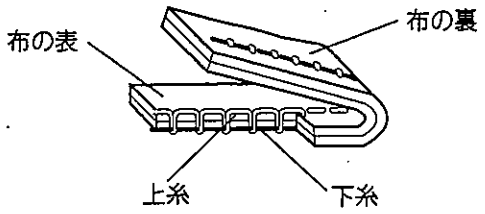
上糸が強すぎるとき、下糸が布の表にでます。



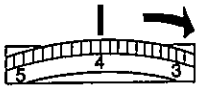

小さな目盛りにあわせます



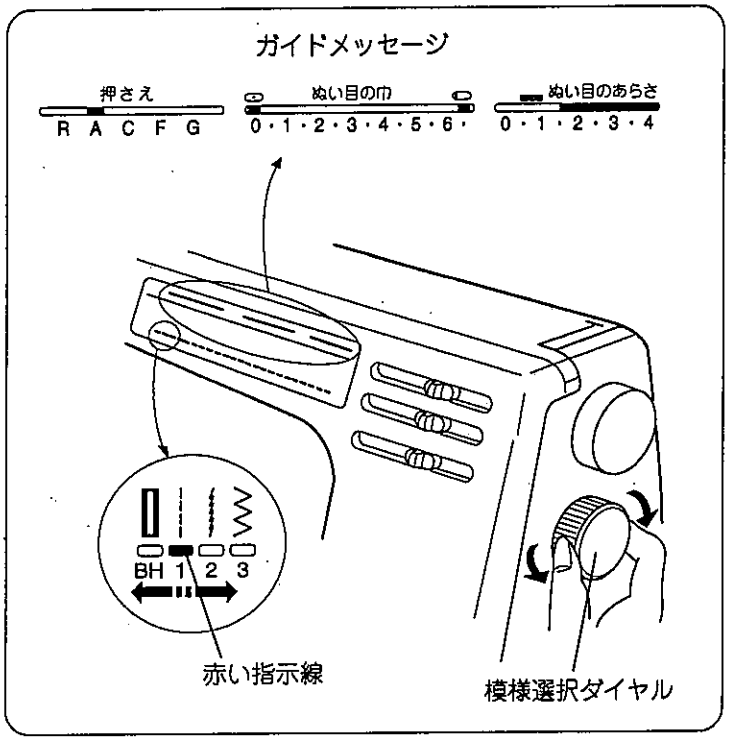

上糸が弱すぎるとき、上糸が布の裏にでます。




大きな目盛りにあわせます



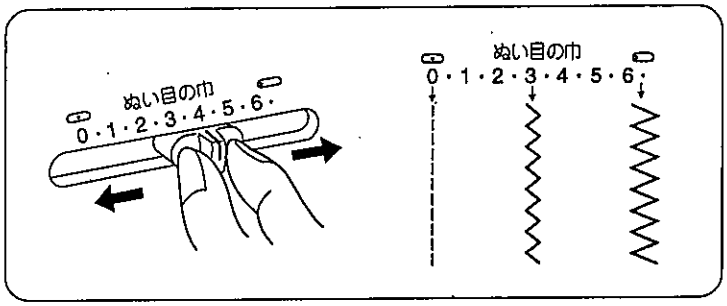
## ◎模様選択ダイヤル




針を最上部にあげて、模様選択ダイヤルをまわし、選んだ模様に赤い指示線をあわせます。
同時に、選んだ模様ぬいに最適な押さえ、ぬい目の巾、ぬい目のあらさ範囲がガイドメッセージに表示されます。

※模様選択ダイヤルをまわすときは、針を布からあげてください。

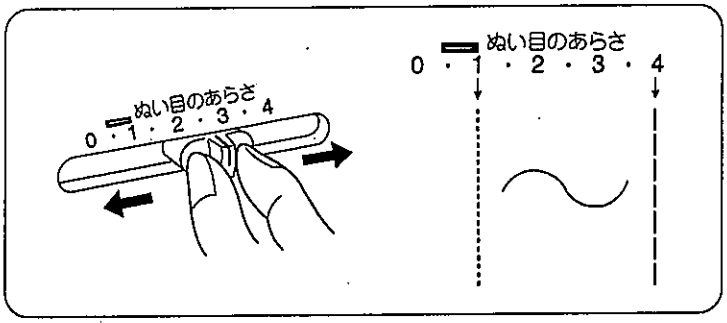
## ◎振巾スライドつまみ（ぬい目の巾調節）




振巾スライドつまみの指示線を目盛りにあわせます。
目盛りが大きくなると、ぬい目の巾は大きくなります。

※振巾スライドつまみを動かすときは、針を布からあげてください。また、押さえ上げもあげてください。

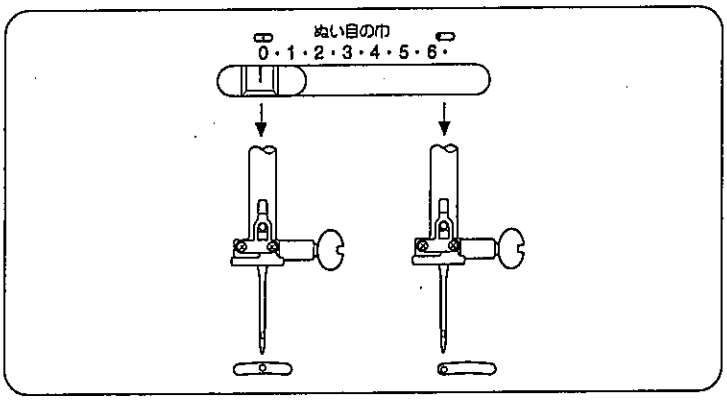
## ◎送りスライドつまみ（ぬい目のあらさ調節）




送りスライドつまみの指示線を目盛りにあわせます。
目盛りが大きくなると、ぬい目はあらくなります。▭はボタンホールのぬい目のあらさの調節範囲を示します。

※送りスライドつまみを動かすときは、押さえ上げをあげてください。

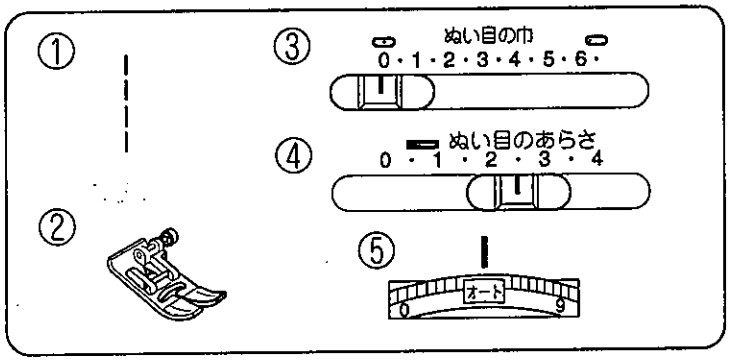
## ◎直線ぬいの針落ち




模様1を選ぶと、振巾スライドつまみにより、直線ぬいの針落ちは、中(⊙)と左(⊙)の間でかえることができます。
端ミシンステッチなどに便利です。

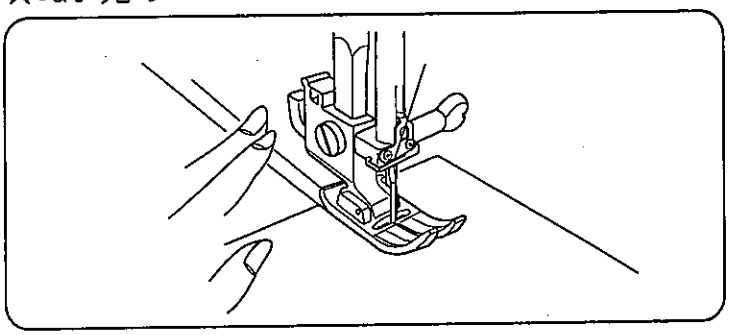
## ◎直線ぬい

### ★ミシンのセット




| | |
|---|---|
| ①模様 | 1 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | ●または● |
| ④ぬい目のあらさ | 1.5～4 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |

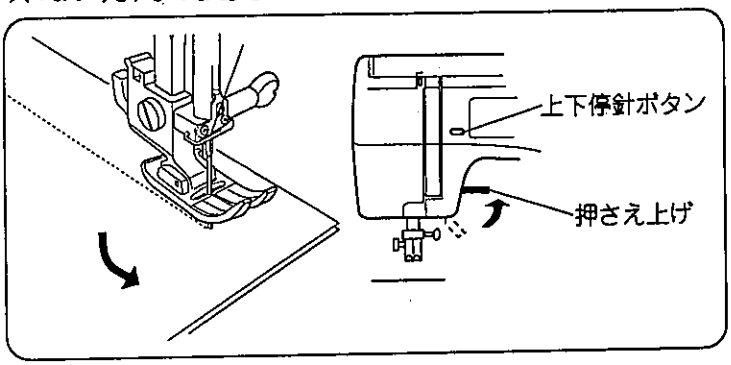
### ★ぬい始め



糸と布を左手でおさえ、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。
押さえ上げをさげて、ゆっくりぬい始めます。

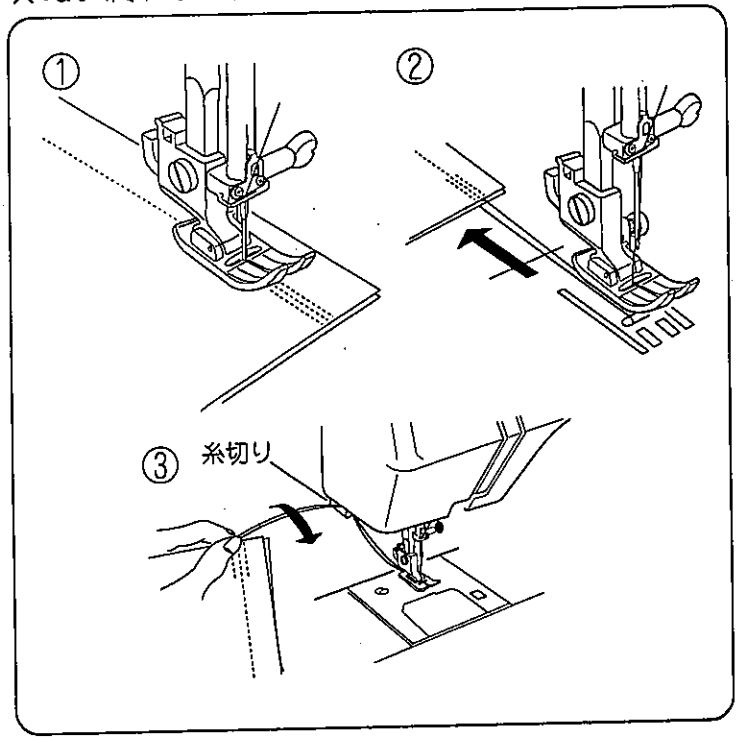
※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

### ★ぬい方向の変更




ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向を変えます。
押さえ上げをさげて、ふたたびぬい始めます。

### ★ぬい終わりの返しぬい

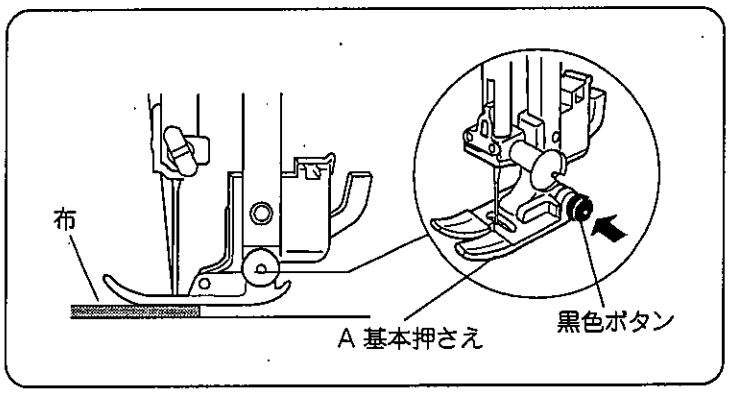



①返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

②押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

③布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

## ◎厚手の布のぬい始め方

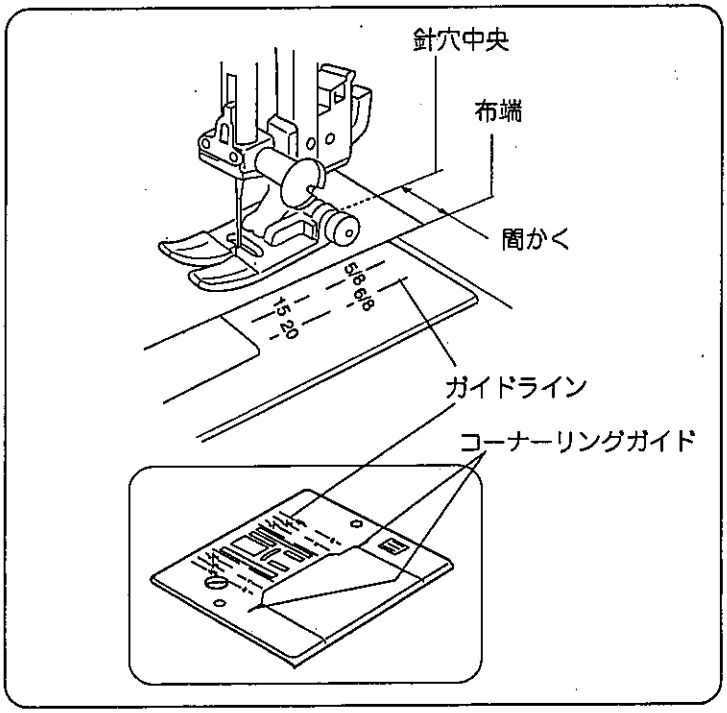



①ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押し込みます。

②ボタンを押したままで押さえ上げをさげます。

③ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

## ◎針板ガイドラインの利用

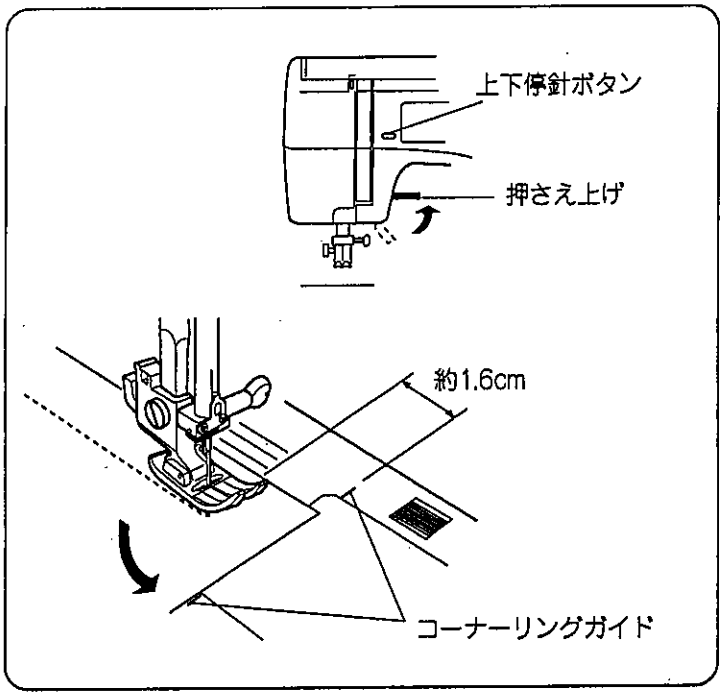



布端を針板ガイドラインにあわせてぬいます。

| 数字 | 15 | 20 | 4/8 | 5/8 | 6/8 |
|---|---|---|---|---|---|
| 間かく(cm) | 1.5 | 2.0 | 1.3 | 1.6 | 1.9 |

※数字は針穴中央から布端までの距離です。

## ◎コーナーリングガイドの利用




布端から1.6cmのところで直角にぬい方向を変えるとき…

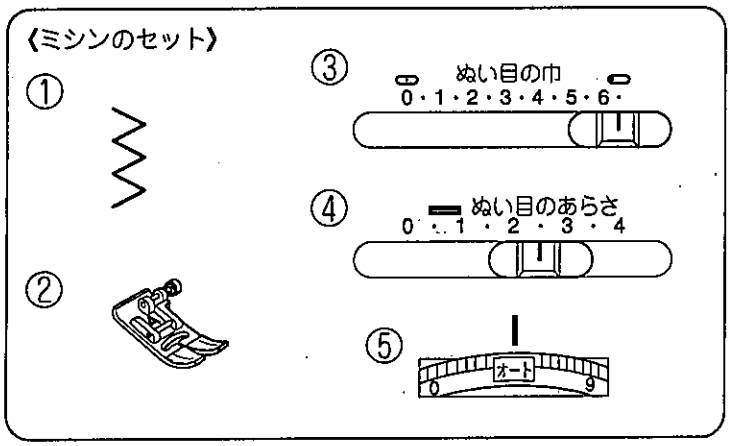
①布端が コーナーリングガイドのところにきたらミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさします。

②押さえ上げをあげ、布を回転させてガイドラインの5/8(1.6cm)にあわせます。

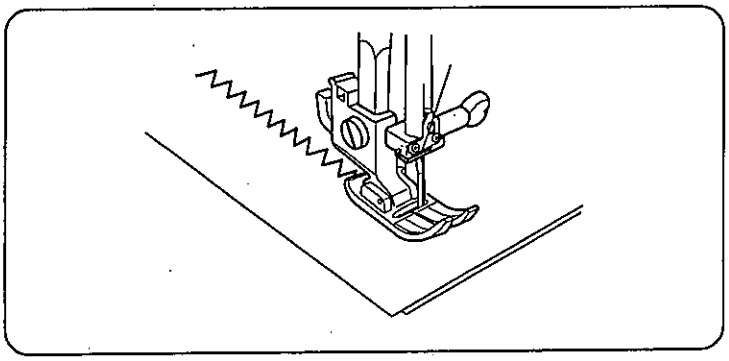
③押さえ上げをさげ、ミシンをスタートします。

## ●いろいろな実用ぬい

### ◎ジグザグぬい



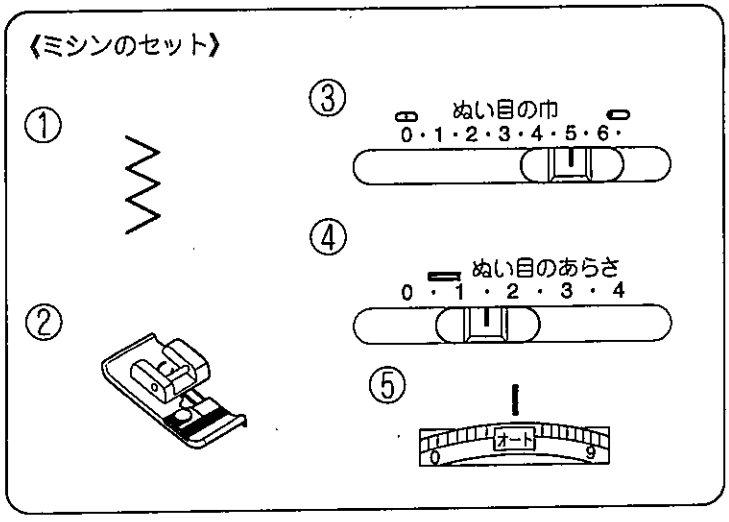

| | |
|---|---|
| ①模様 | 3 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 1～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 0.5～3 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |



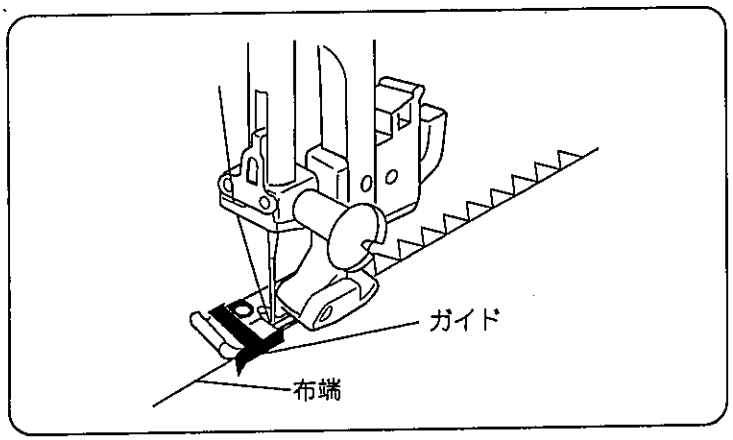
振巾スライドつまみでぬい目の巾を送りスライドつまみでぬい目のあらさを調節してぬいます。
伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には接着芯を貼るときれいにぬえます。

※振巾スライドつまみを動かすときは、針を布からあげてください。

### ◎ジグザグぬいたち目かがり

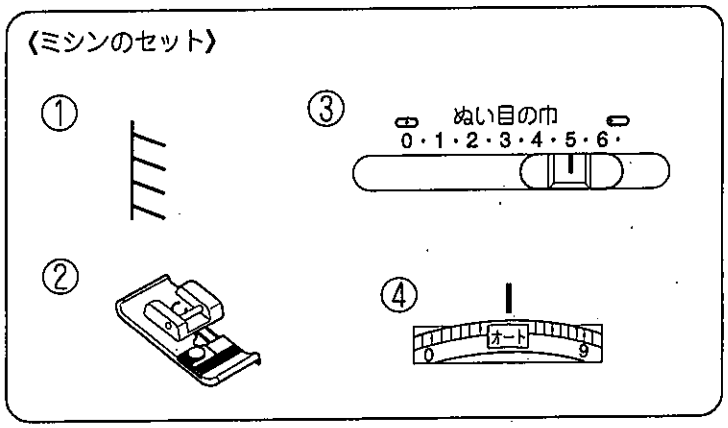



| | |
|---|---|
| ①模様 | 3 |
| ②押さえ | C たち目かがり押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 5～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 1～2 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |




布端のほつれ止めとして広く利用します。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

## ◎かがりぬい



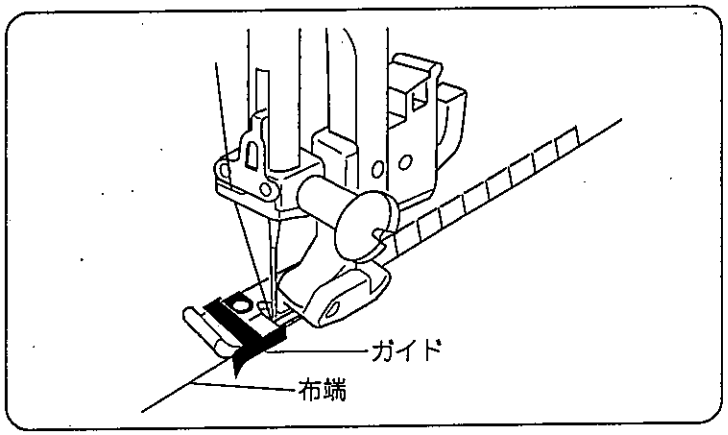

①模様　15

②押さえ　C たち目かがり押さえ

③ぬい目の巾　5

④糸調子ダイヤル　オート

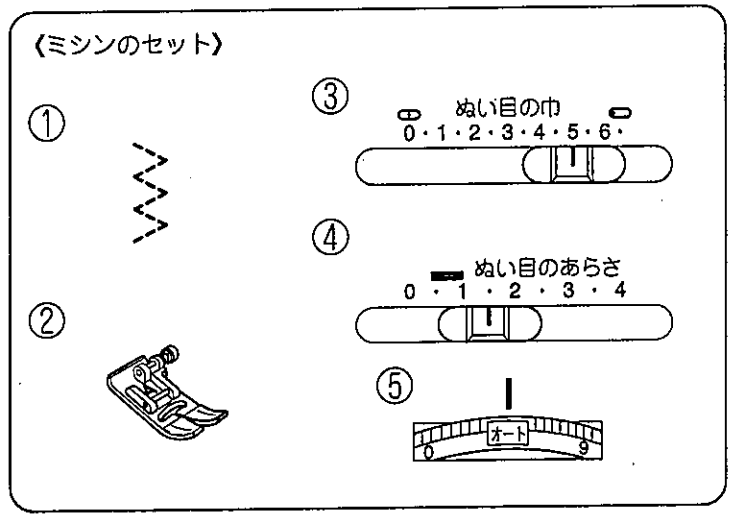
※送りスライドつまみの操作は必要ありません。




地ぬいを兼ねたかがりぬいに利用します。
また、布端のほつれ止めとしても使えます。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、ブルー針を使用すると効果があります。

## ◎トリコットぬいたち目かがり



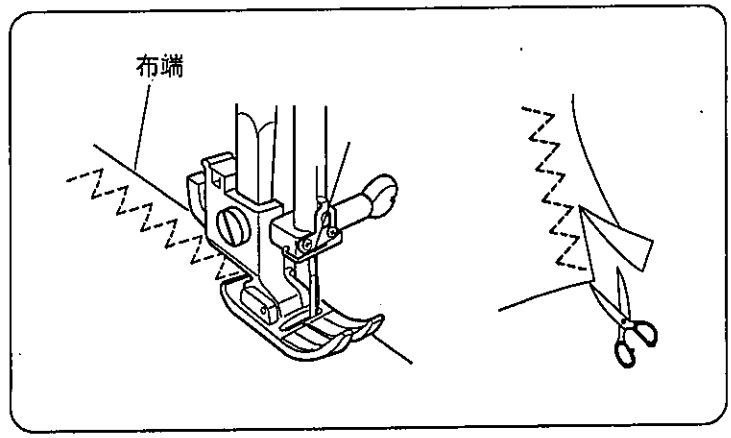

①模様　5

②押さえ　A 基本押さえ

③ぬい目の巾　3～6.5

④ぬい目のあらさ　0.5～1.5

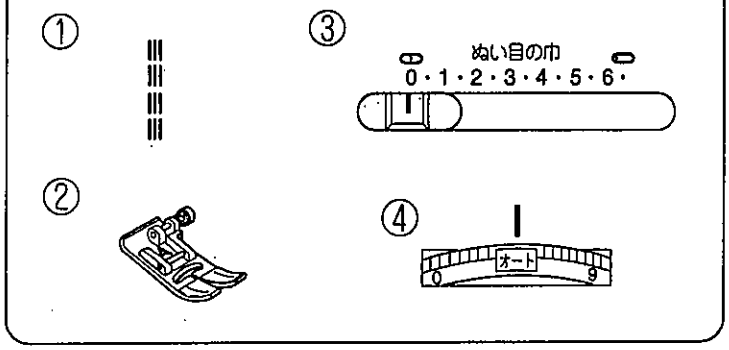
⑤糸調子ダイヤル　オート




ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の返り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

## ◎直線三重ぬい

《ミシンのセット》



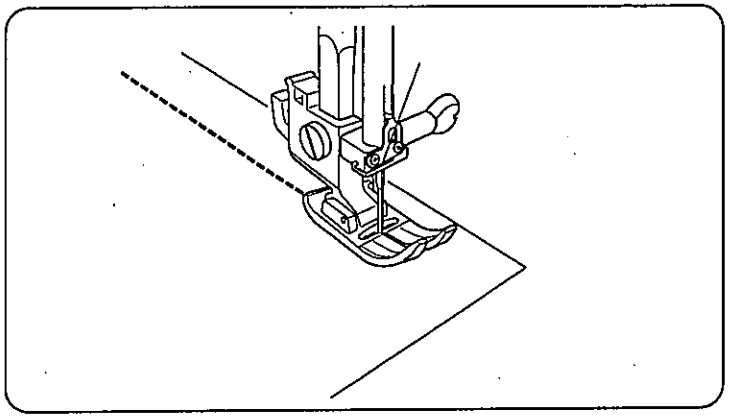

①模様　18

②押さえ　A 基本押さえ

③ぬい目の巾　⊙または⊙

④糸調子ダイヤル　オート

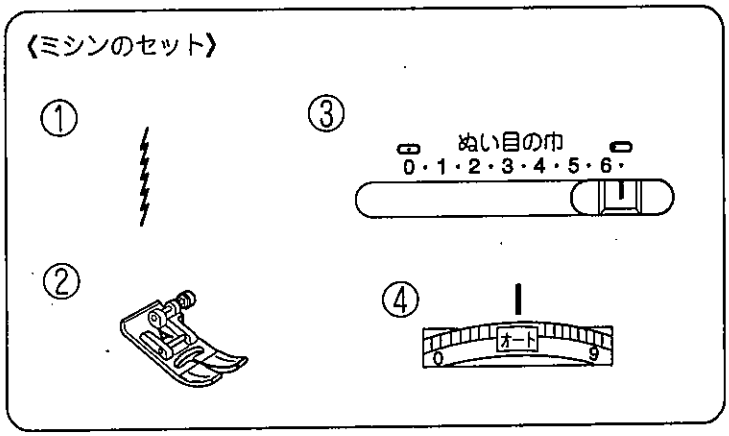
※送りスライドつまみの操作は必要ありません。



丈夫なぬい目なので、補強ぬいに便利です。
布が前後するので、ぬい目がまがらないように注意してぬいます。

## ◎伸縮ぬい

《ミシンのセット》



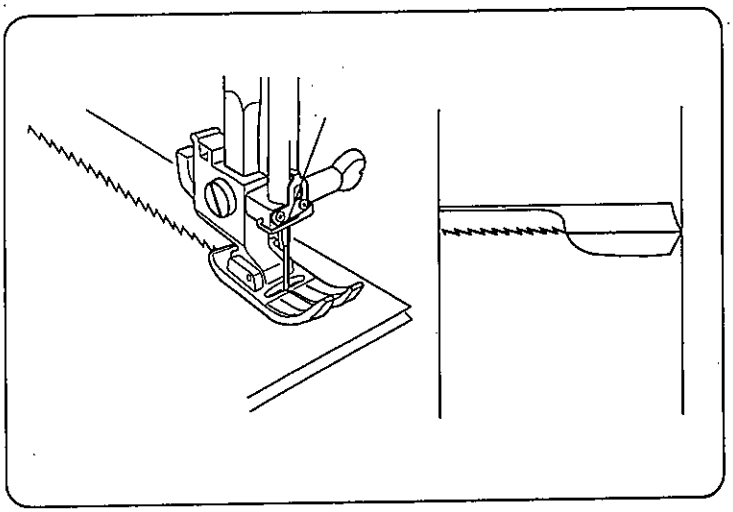

①模様　2

②押さえ　A 基本押さえ

③ぬい目の巾　⊙

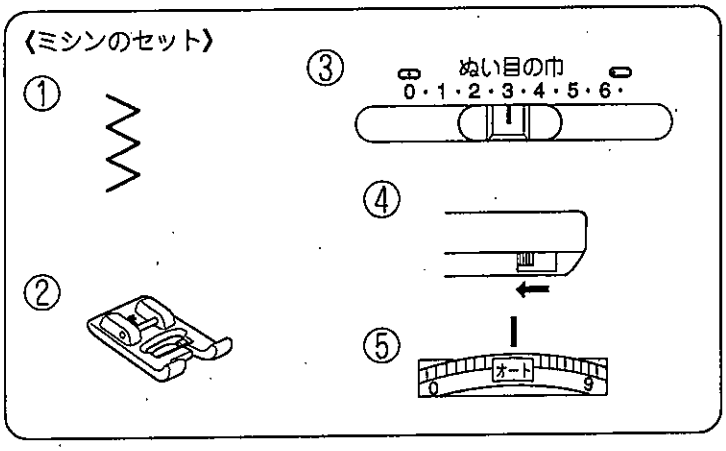
④糸調子ダイヤル　オート

※送りスライドつまみの操作は必要ありません。



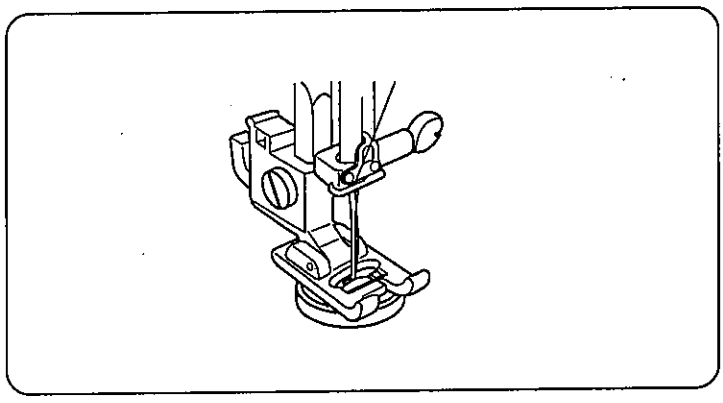
布がのびても、糸が切れにくい、伸縮性のあるぬい目です。また、直線状なのでぬいしろを割ることができ、ニット、トリコットなどのぬいあわせに便利です。
ぬい方は直線ぬいと同じです。

## ◎ボタンつけ



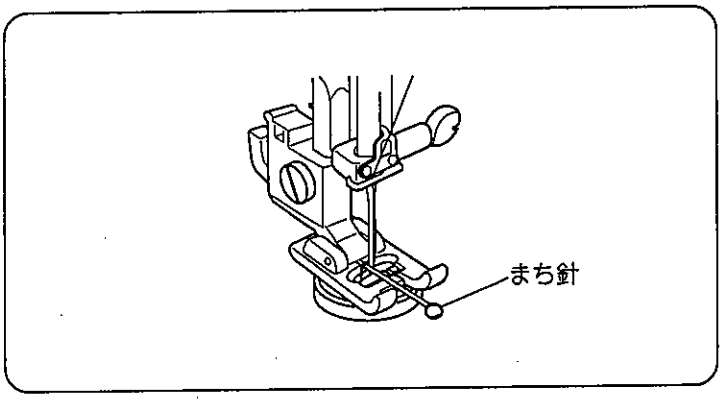

| | |
|---|---|
| ①模様 | 3 |
| ②押さえ | F サテン押さえ |
| ③ぬい目の巾 | ボタン穴の巾にあわせる |
| ④ドロップつまみ | 送り歯をさげる |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |

※送りスライドつまみの操作は必要ありません。



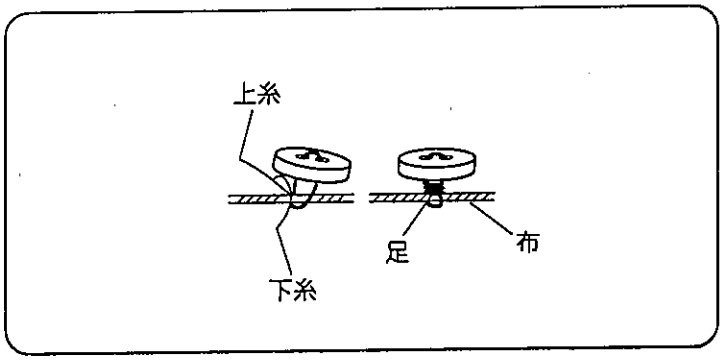
振巾スライドつまみは、ボタンの穴の巾にあわせてセットします。ドロップつまみを左に動かして送り歯をさげます。（さげ方は8ページをごらんください。）

はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。
ぬい目の巾とボタンの左右の穴が同じ位置にくるようにして押さえ上げをさげます。




押さえの中央にまち針をのせ、はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。
10針ほどぬったら上糸・下糸を20cmくらい残して切ります。

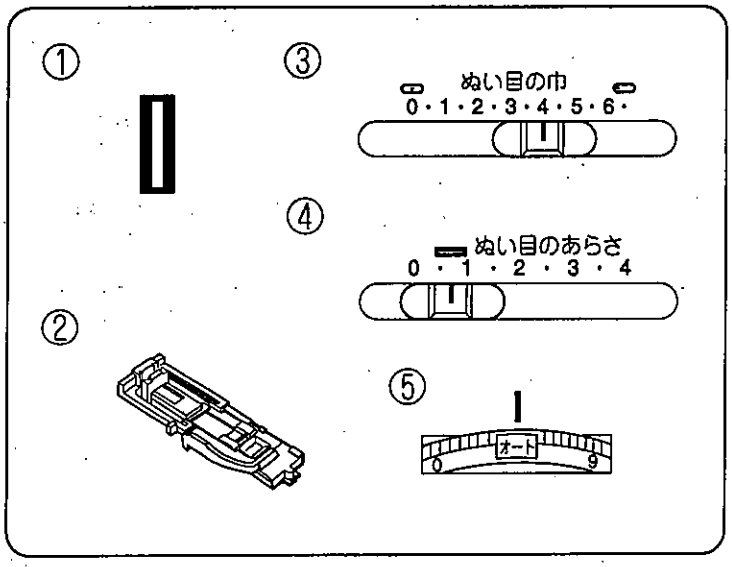
※ぬい始めの上糸と下糸はハサミで切りとってください。




上糸をボタンと布の間に引き出してから、上糸を強く引いて下糸をボタンと布の間に引き出し、上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回まきつけて結びます。

※ぬい終わったらドロップつまみをもどして、送り歯をあげます。

## ◎オートボタンホールぬい




①模様　BH

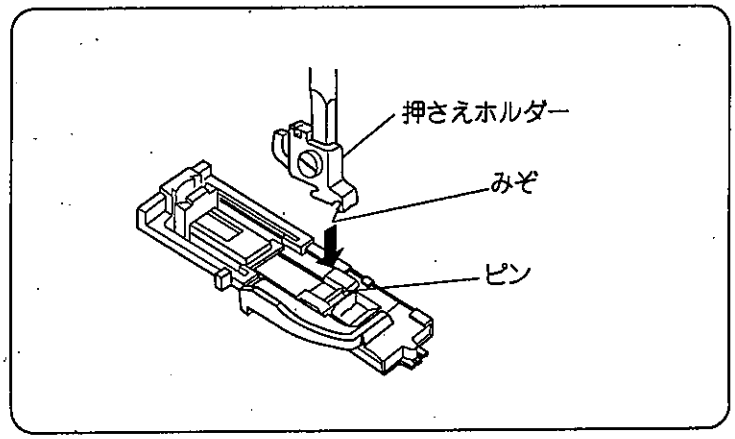
②押さえ　R オートマチック ボタンホール押さえ

③ぬい目の巾　4～6.5

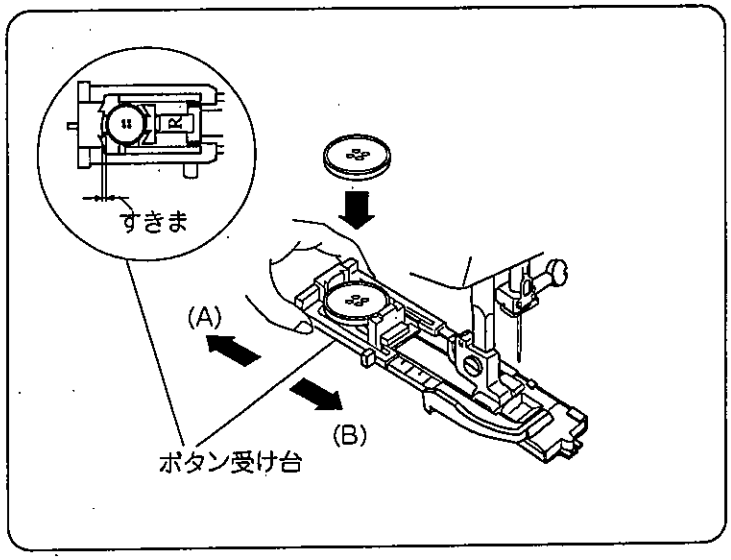
④ぬい目のあらさ

⑤糸調子ダイヤル　オート

※電源スイッチを入れて、はじめにボタンホールぬいをするときは、25 ページの「引き続きボタンホールぬいをする場合」の手順でリセットしてください。

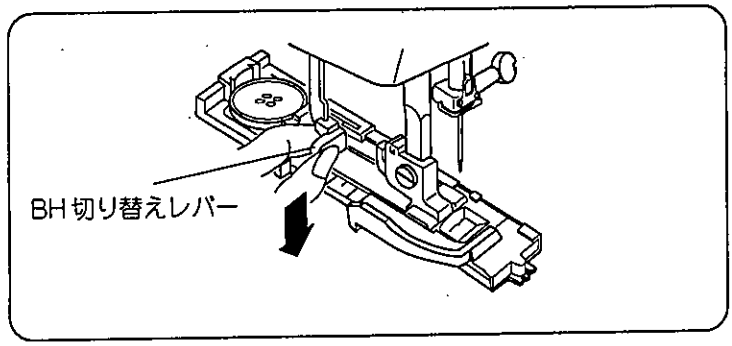



上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえ上げをあげます。
模様選択ダイヤルをまわして、BH に赤い指示線をあわせます。
押さえホルダーのみぞと押さえのピンをあわせ、押さえ上げをさげてセットします。

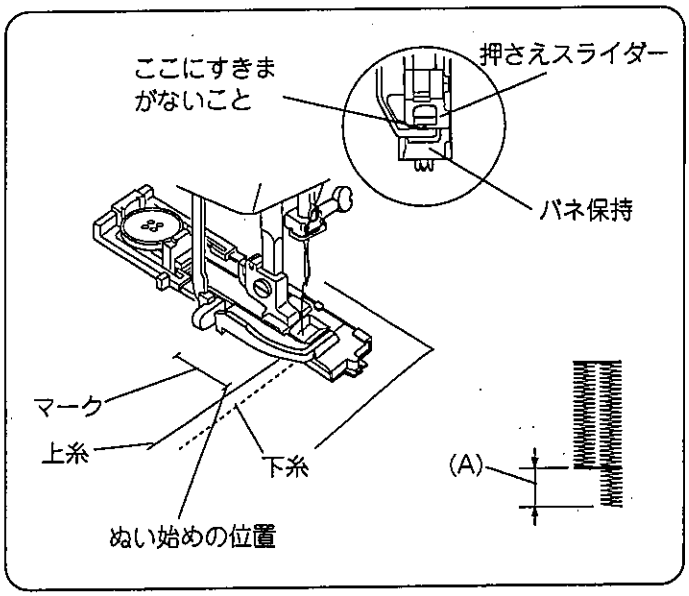



ボタン受け台を(A)の方向へ引き、ボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。

※ボタンホールの長さは、使用するボタンを R オートマチックボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと、自動的に決まります。
※ボタンの直径が 2.5cm までボタンホールができます。
※ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。
※ぬうものと同じ布で試しぬいをして、セットを確かめましょう。
※伸縮性のある布には、裏にのびにくい芯地を貼ってください。

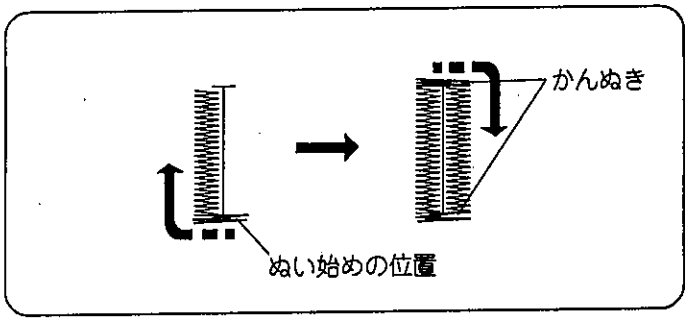



BH 切り替えレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。



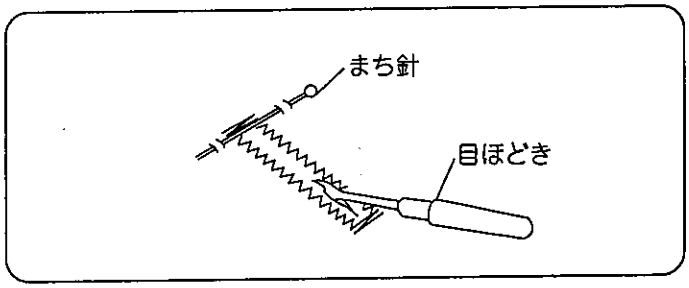

押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、ぬい始めの位置に針をさして、押さえをさげます。

※ぬい始めに、押さえスライダーとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあると、ぬい終わったとき(A)のようなずれがおこることがあります。



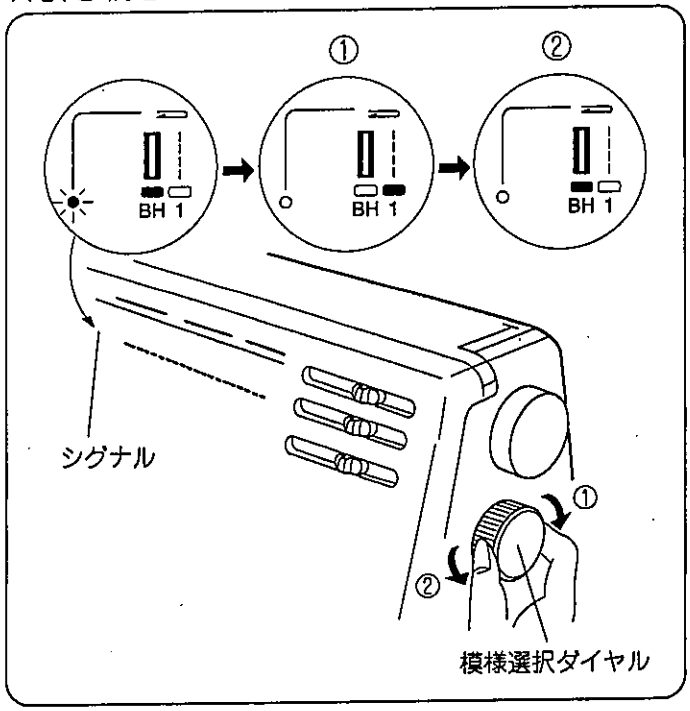

ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

※ぬっていく順序は、「かんぬき→左側のボタン穴かがり→かんぬき→右側のボタン穴かがり」です。
※ぬい終わると「ピッピッ」とお知らせ音が鳴ります。

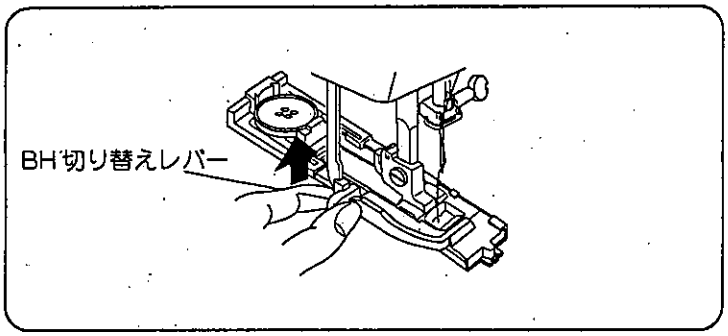



押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸・下糸を10cmくらい残して切ります。下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

★引き続きオートボタンホールぬいをする場合

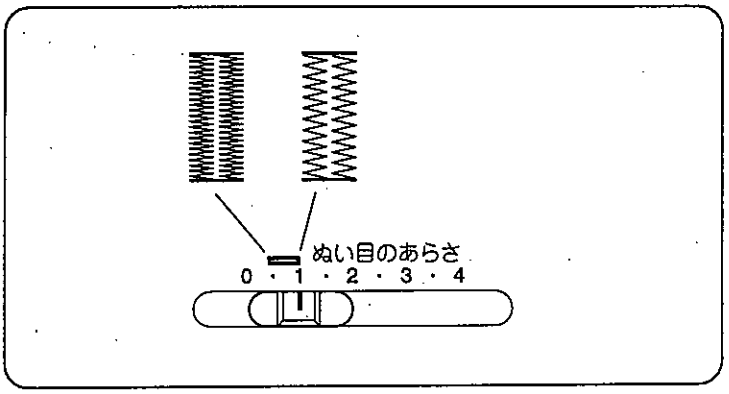



一度ダイヤルを①方向に回して（シグナルの点滅が消える）、他の模様を選んだ後、ふたたびダイヤルを②方向にもどしＢＨ模様を選びます。
この操作をすると次のオートボタンホールぬいのセットが出来たことになります。



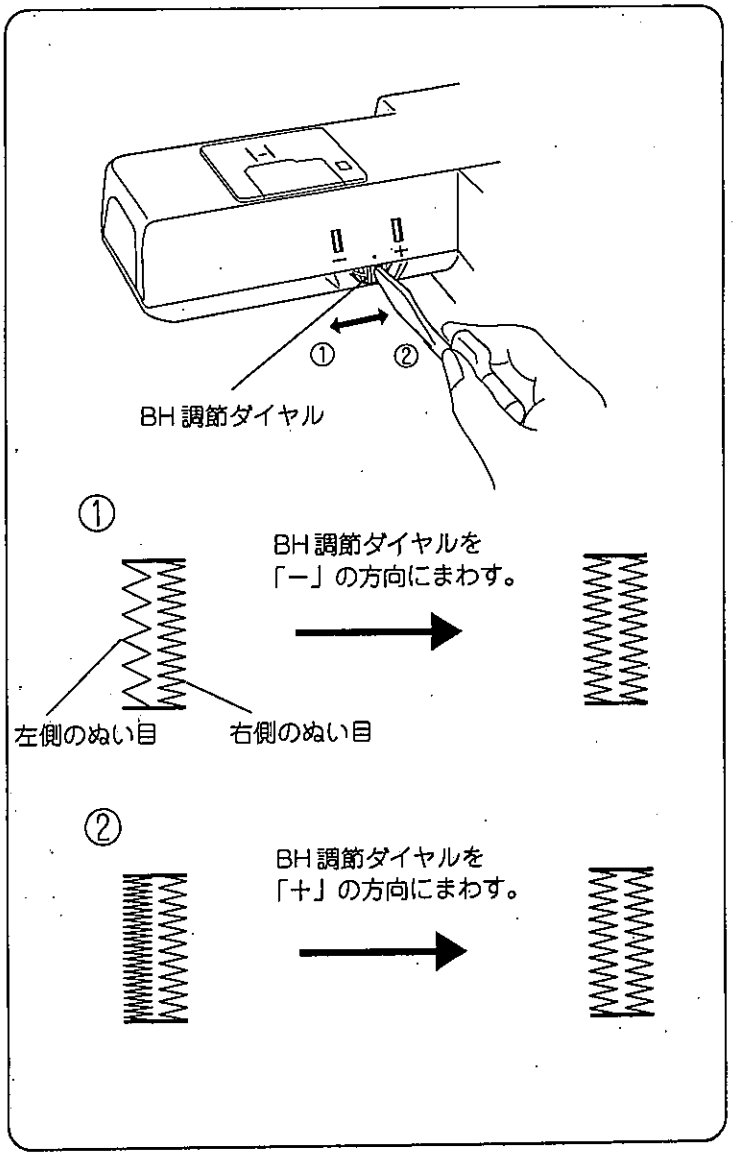

ボタンホールぬいが終わったら、BH切り替えレバーを止まるまでいっぱいに押しあげてもどしてください。

★ぬい目のあらさ調節




ボタンホールのぬい目のあらさは、▭の範囲で調節します。

★左右のぬい目のあらさがそろっていないとき



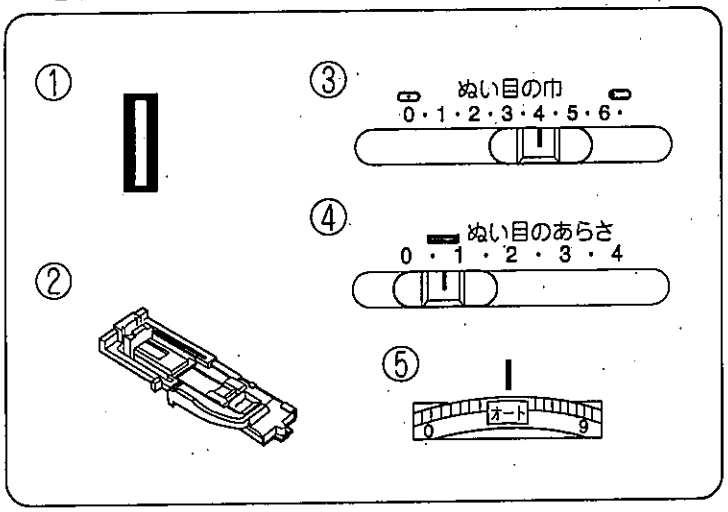

ぬい目のあらさをBH調節ダイヤルで調節します。

※右側に対して、左側のあらさ調節ができます。

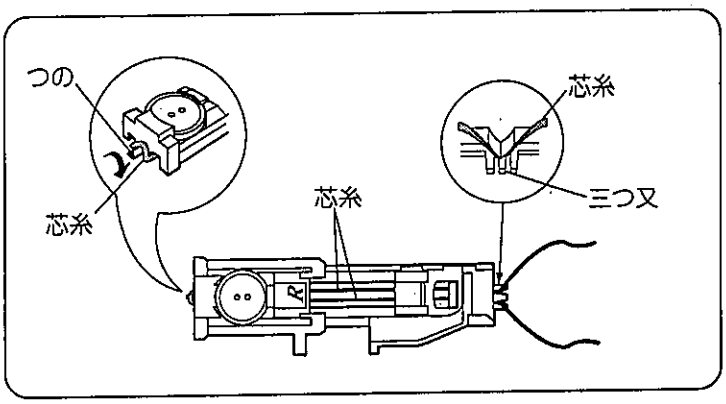
①左側のぬい目を細かくしたいときは「ー」方向にまわします。

②左側のぬい目をあらくしたいときは「＋」方向にまわします。

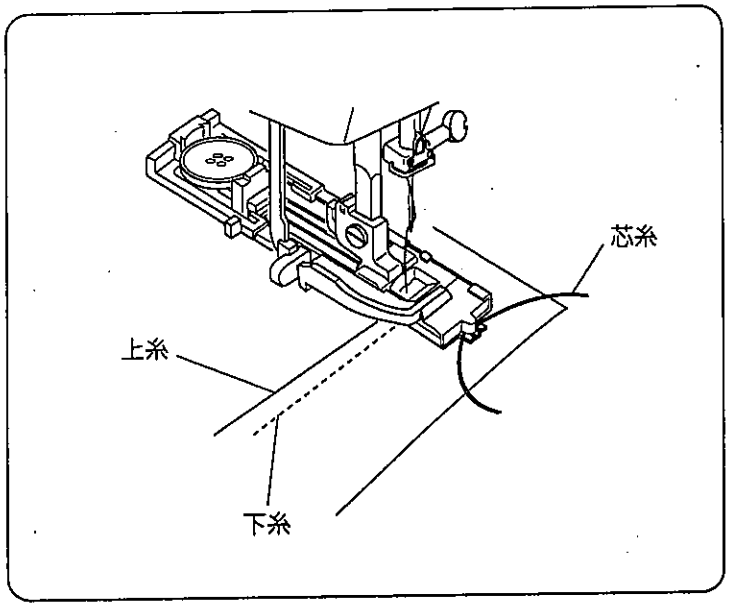
## ◎芯入りオートボタンホールぬい



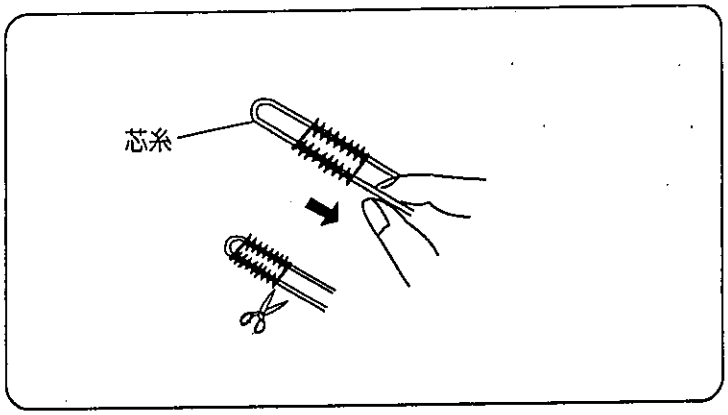

| | |
|---|---|
| ①模様 | BH |
| ②押さえ | R オートマチック<br>ボタンホール押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 4～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | ▬ |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |




R オートマチックボタンホール押さえを押さえホルダーにセットして、芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引きだし、前側の三つ又にはさみます。
ぬい目の巾は芯糸にあわせてセットします。




上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
ぬい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげます。
ミシンをスタートさせて、オートボタンホールの手順と同じようにぬいます。

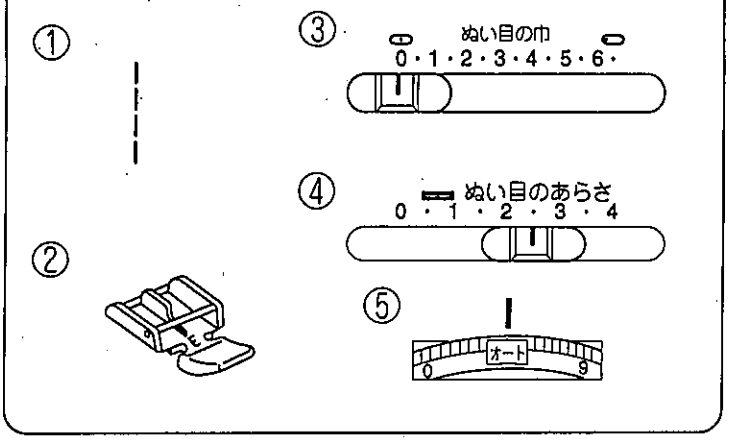



左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸を切ります。

※穴のあけ方は、25 ページをごらんください。

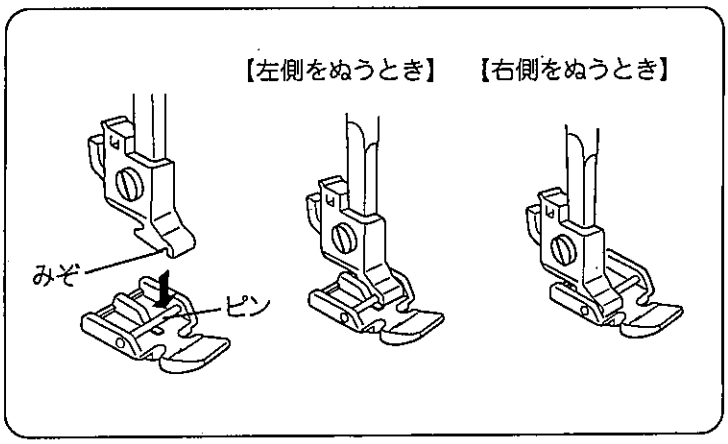
## ◎ファスナーつけ

《ミシンのセット》



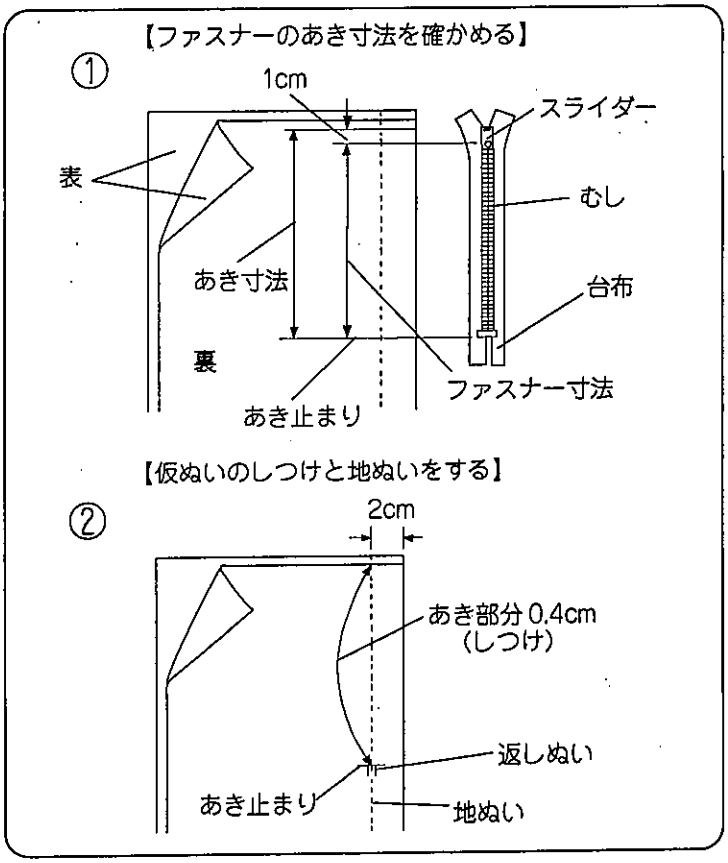

| | |
|---|---|
| ①模様 | 1 |
| ②押さえ | E ファスナー押さえ |
| ③ぬい目の巾 | ⊙ |
| ④ぬい目のあらさ | 1.5～4 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |

### ★ファスナー押さえのつけ方




左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンをあわせて右側にセットします。
右側をぬうときは、左側にセットします。

### ★準備　(例：左脇あきのぬい方)

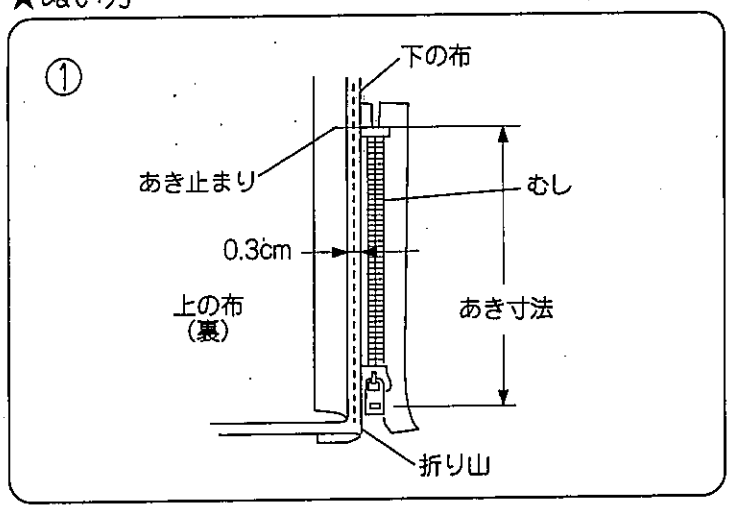



①ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に 1cm プラスした寸法です。

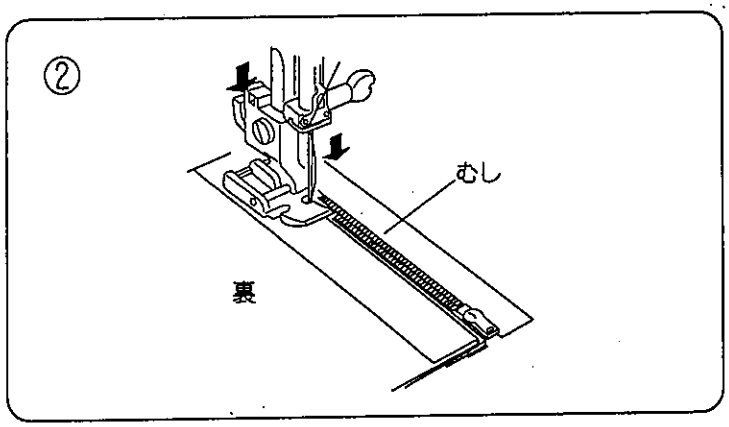
②仮ぬいのしつけと地ぬいをします。
布を中表にあわせて、あき止まりまで地ぬいをします。
あき部分は、ぬい目のあらさ 0.4cm でしつけをします。

※しつけは、ほどきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

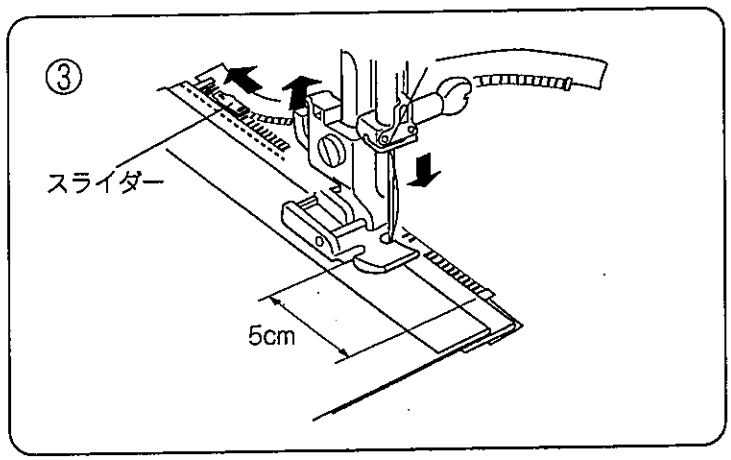
★ぬい方



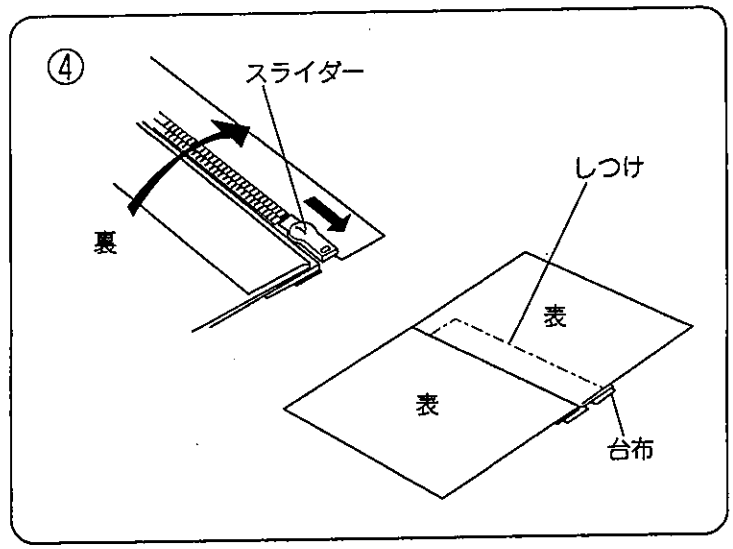

①ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0.3cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。



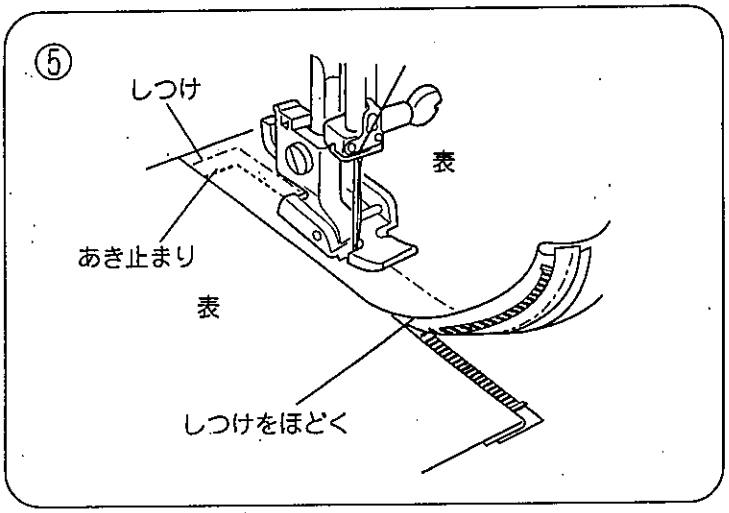

②押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。



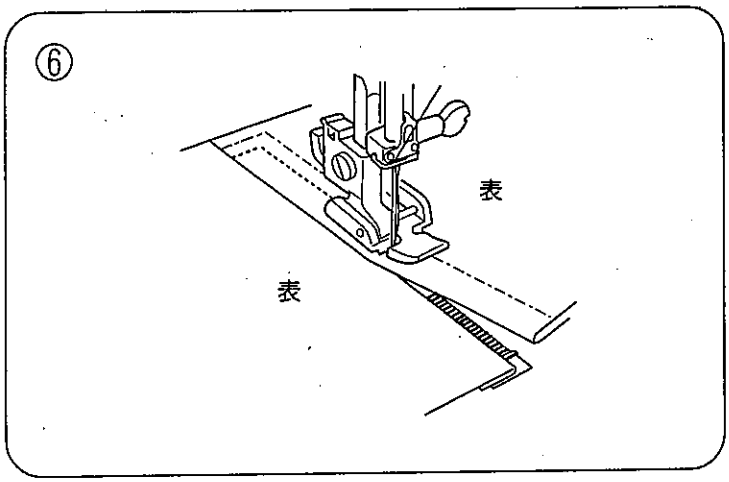

③ファスナーの端から5cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。
押さえをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。




④ファスナーをとじ、スライダーを上にたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
かぶせた布と台布をしつけで止めます。



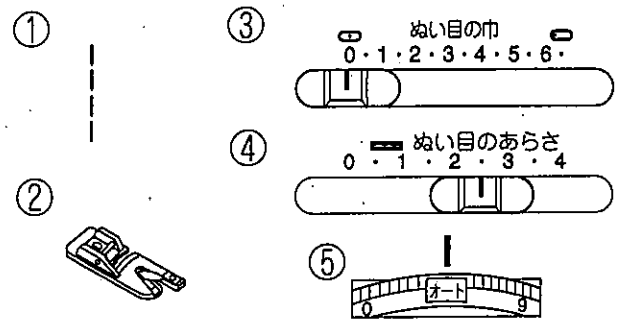

⑤押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえ上げをあげて、しつけ糸をほどきます。




⑥スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

## ◎三つ巻きぬい

《ミシンのセット》




①模様　1

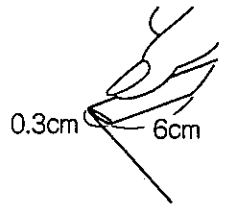
②押さえ　D 三つ巻き押さえ

③ぬい目の巾　⊙

④ぬい目のあらさ　1.5～4

⑤糸調子ダイヤル　オート

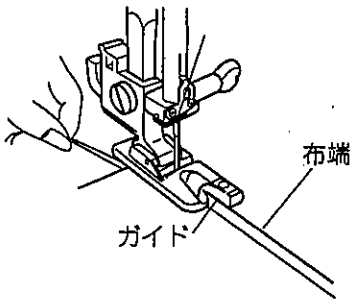
①




①布端の長さ 6cm を約 0.3cm の巾で三つ折りにします。

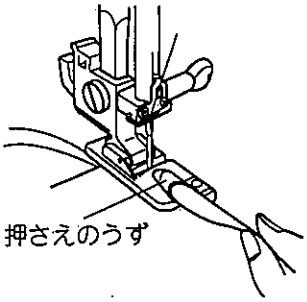
※折り目のつきにくい布はアイロンで折り目をつけておくと、ぬいやすくなります。

②



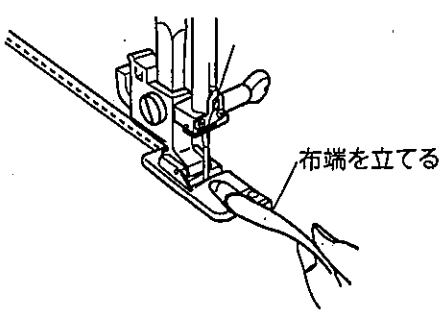

②ぬい始めの部分に針をさし、押さえ上げをさげます。上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押さえのガイドをあわせて1～2cmぬいます。

③



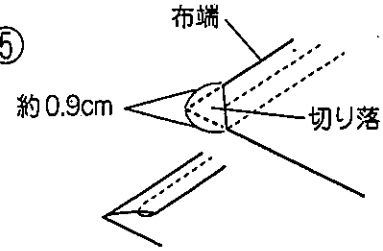

③上下停針ボタンを押して針をさし、押さえ上げをあげて三つ折りの部分を開き、押さえのうずの中にまき込みます。

④




④押さえ上げをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

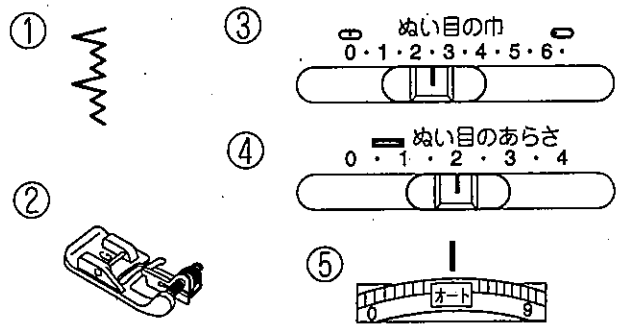
⑤



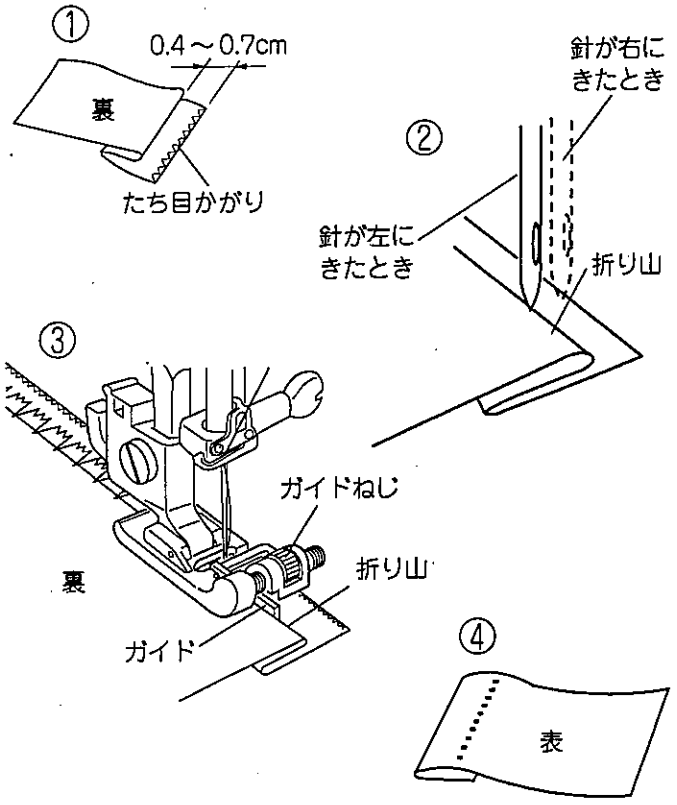

⑤布端のしまつをするとき、三つ巻きぬいの重なる部分は、布端を切り落として折りあわせ、厚みをうすくします。

## ◎くけぬい（まつりぬい）

《ミシンのセット》




| | |
|---|---|
| ①模様 | 4 |
| ②押さえ | G くけぬい押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 2～3 |
| ④ぬい目のあらさ | 1～3 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |




①布は折るときに裏を表にして下に折り込み、布端を0.4～0.7cmほどはみ出させます。

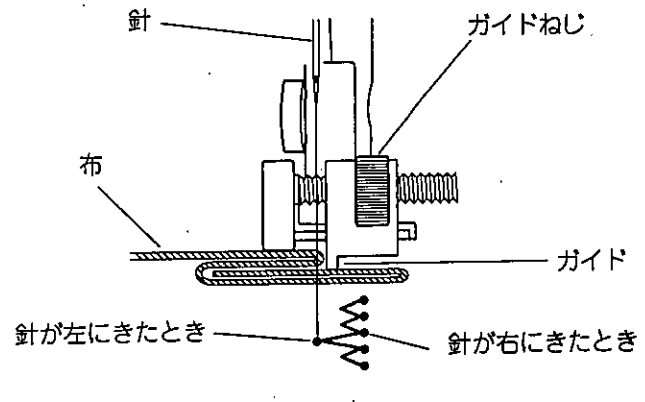
②針が左にきたとき、わずかに折り山をさすように布を置いて、押さえ上げをさげます。

③ガイドねじをまわして、ガイドを折り山にあわせ、針が折り山からはずれないようにぬいます。
※下記の「ガイドのあわせ方」を参照してください。

④ぬい終わったら布を表に返します。

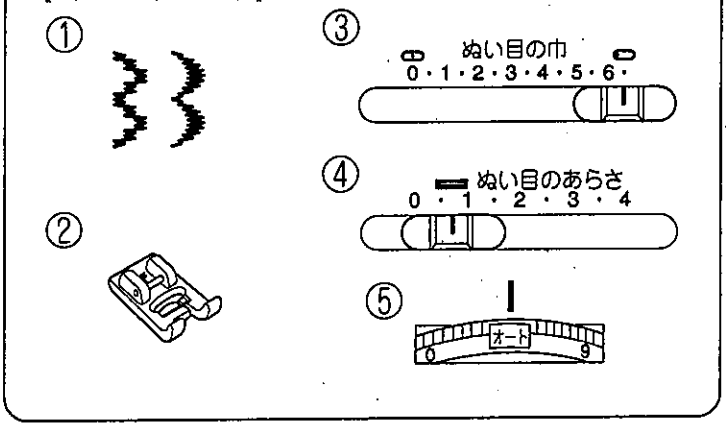
※左側におりる針が必要以上にかかりすぎると、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりませんのでご注意ください。

## ★ガイドのあわせ方

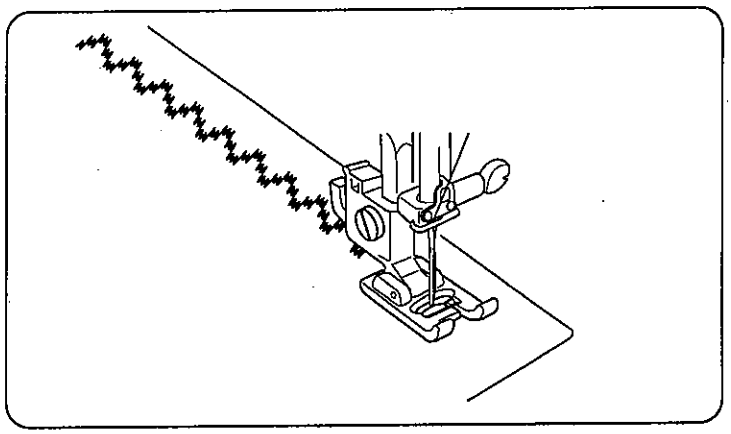


## ◎密着模様ぬい

《ミシンのセット》




| | |
|---|---|
| ①模様 | 9, 10 |
| ②押さえ | F サテン押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 3～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 0.5～1 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |

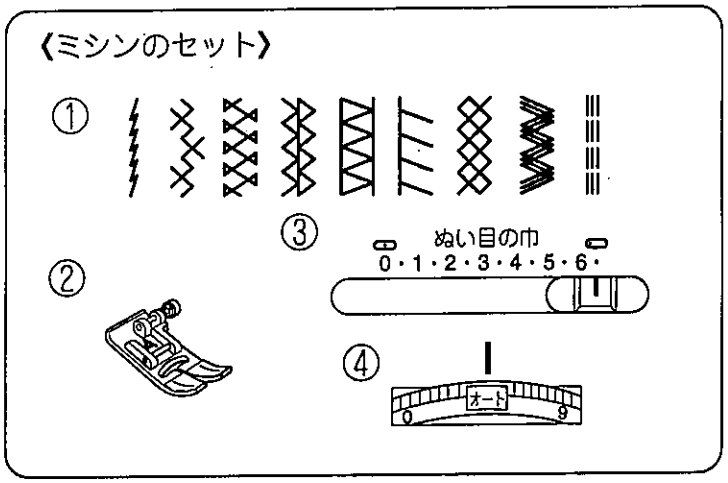


送りスライドつまみをあわせるとき、ぬい目が細かすぎるとつまることがあるので、試しぬいをして調節してください。

※布がちぢむときは下に紙をしくか、接着芯を貼るときれいに仕上がります。

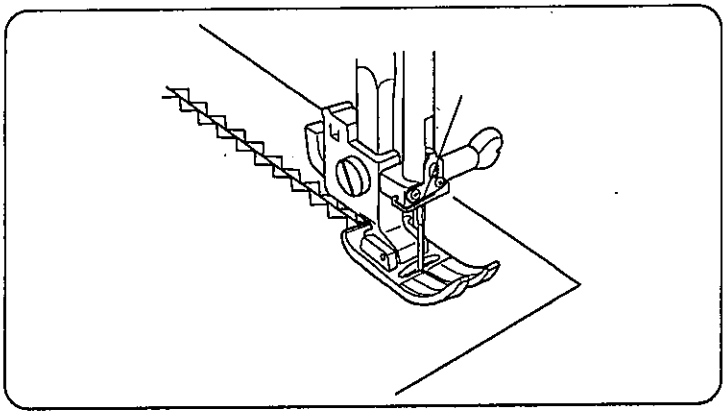
## ◎スーパー模様ぬい

《ミシンのセット》




| | |
|---|---|
| ①模様 | 2,11～18 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 3～6.5 |
| ④糸調子ダイヤル | オート |

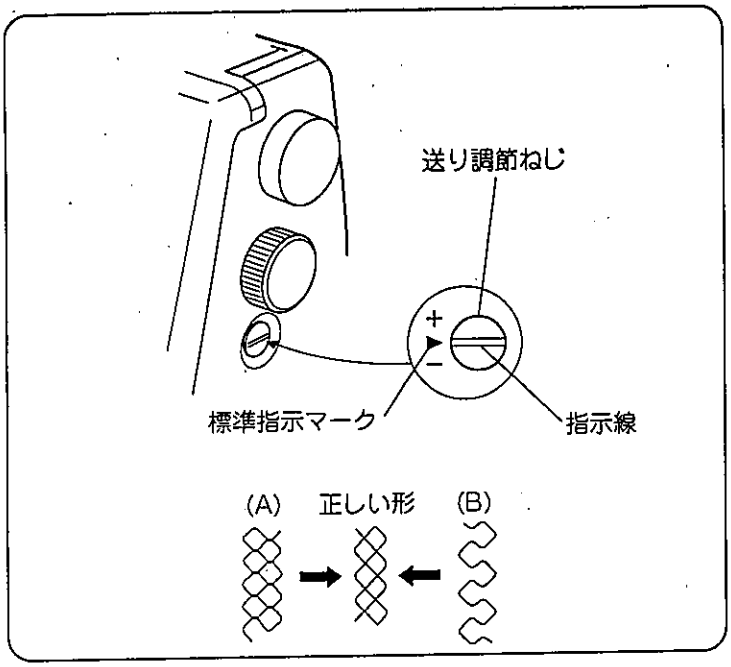
※送りスライドつまみの操作は必要ありません。



布が前後するので、ぬい目が曲がらないように注意してぬいます。

※模様が整わないときは、34 ページをごらんください。

## ◎スーパー模様の形の整え方



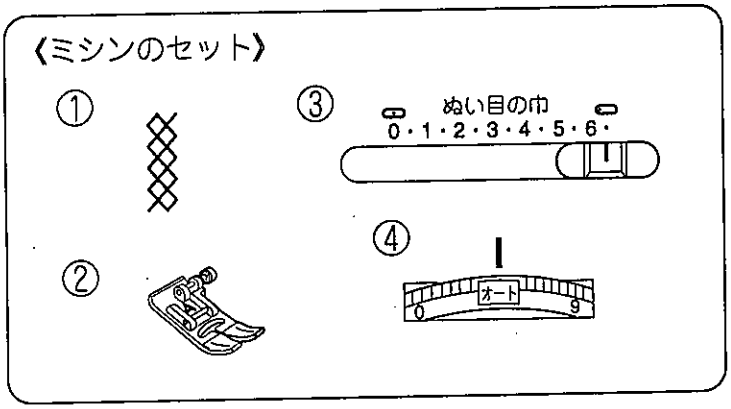

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

図(A) のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「十」方向にまわします。

図(B)のように模様がのびているときは、送り調節ねじを「ー」方向にまわします。

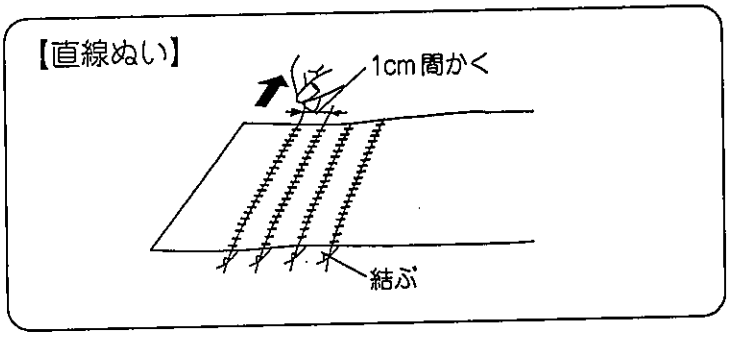
※標準指示マークと指示線が一致する位置が、模様を正しくぬえる目安の位置です。

## ◎スモッキング

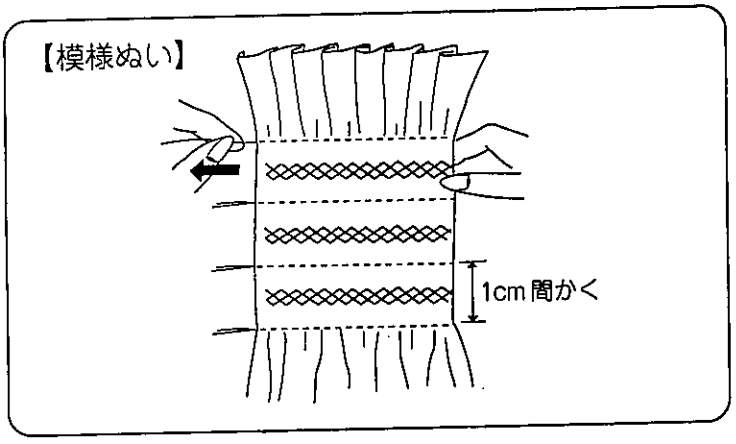



| | |
|---|---|
| ①模様 | 16 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 3～6.5 |
| ④糸調子ダイヤル | オート |

※送りスライドつまみの操作は必要ありません。
※ほかに 12, 17, 18 などの模様が使えます。



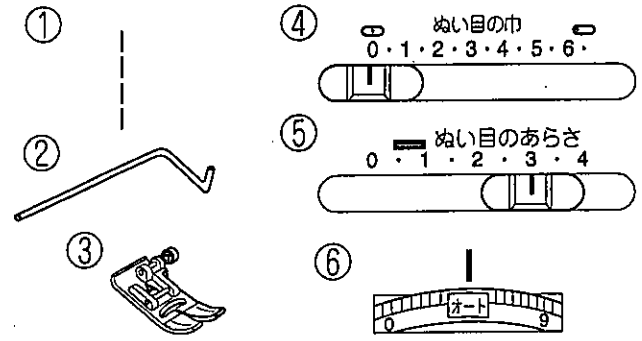

直線ぬい
上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらさが 0.3～0.4cm の直線を 1cm 間かくで数本ぬいます。




模様ぬい
上糸と下糸を布の片側でむすび、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。直線ぬいと直線ぬいの間に模様ぬいをしてから直線ぬいの糸を抜きとります。

## ◎キルティング

《ミシンのセット》




①模様　1

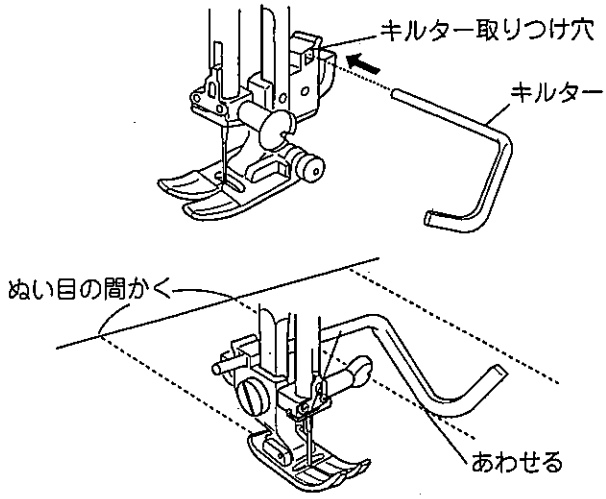
②L キルター

③押さえ　A 基本押さえ

④ぬい目の巾　●または●

⑤ぬい目のあらさ　1.5～4

⑥糸調子ダイヤル　オート

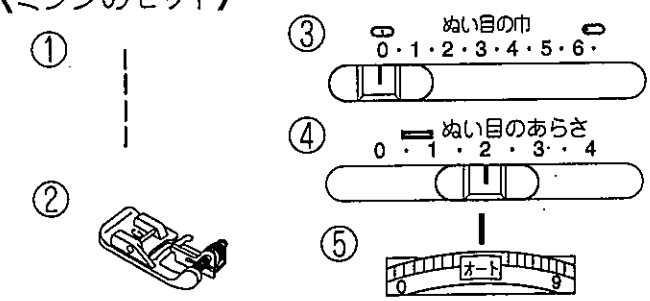



キルターをとりつけ穴に入れ、ぬい目の間かくにあわせます。

※キルターは前にぬったぬい目をたどるのに使います。

## ◎ピンタック

《ミシンのセット》



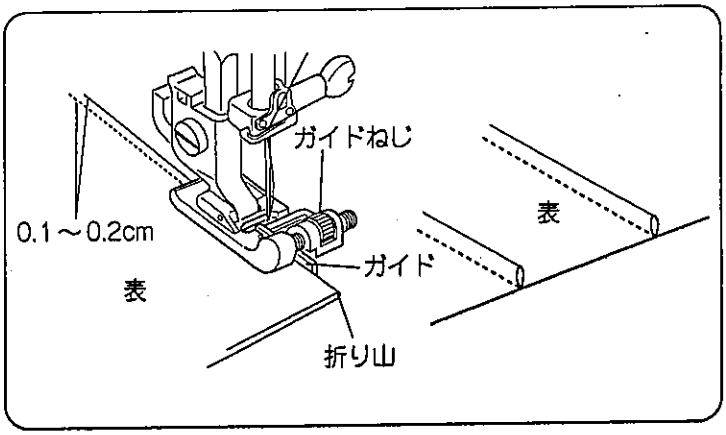

①模様　1

②押さえ　G くけぬい押さえ

③ぬい目の巾　●または●

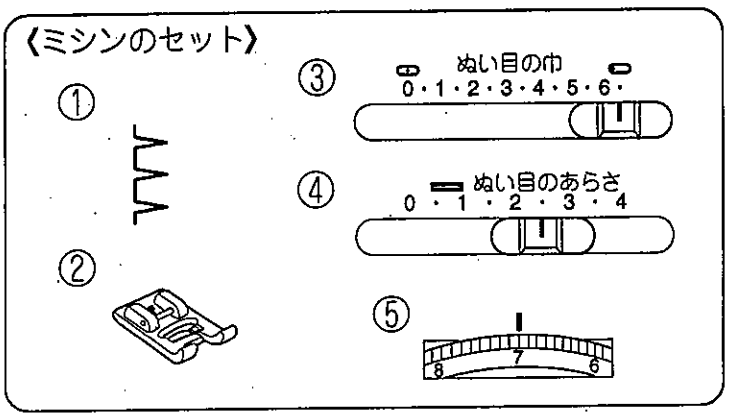
④ぬい目のあらさ　1.5～3

⑤糸調子ダイヤル　オート

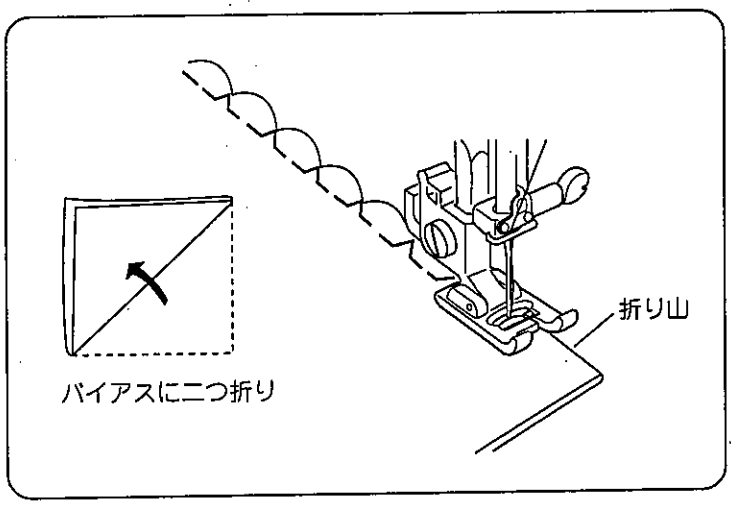



はずみ車を手前にまわして、針が折り山より0.1～0.2cm内側におりるように布を置いて、押さえ上げをおろします。
ガイドねじをまわしガイドを折り山にあわせて、ぬいます。

## ◎シェルタック



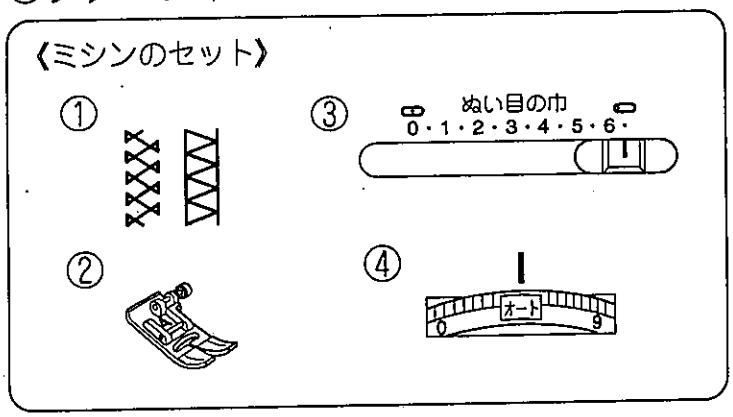

| | |
|---|---|
| ①模様 | 6 |
| ②押さえ | F サテン押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 5～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 2～3 |
| ⑤糸調子ダイヤル | 6～8 |




布をバイアスに二つ折りにします。
針が右にきたとき布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。
布を開き、アイロンで山を片側にたおします。

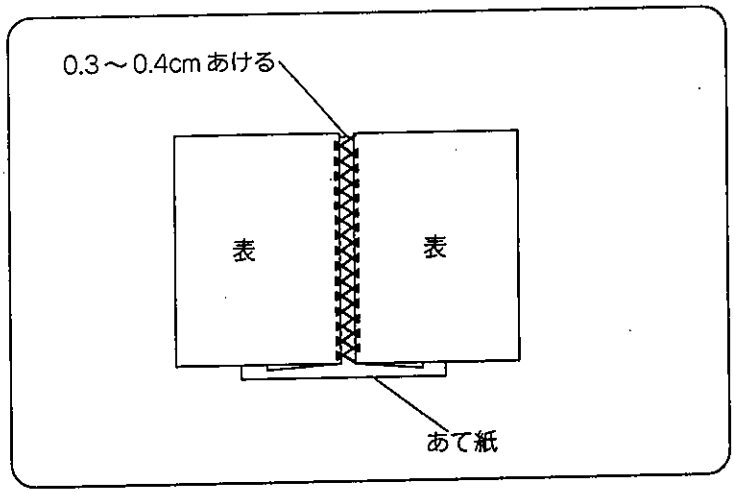
※糸調子は試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調整します。

## ◎ファゴティング



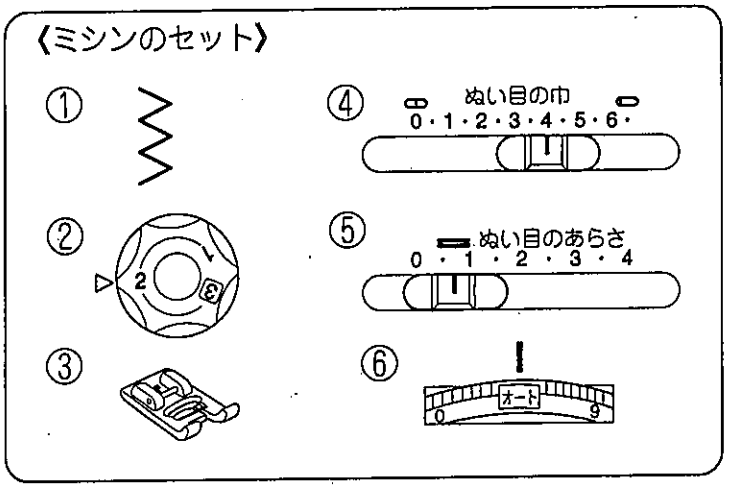

| | |
|---|---|
| ①模様 | 12, 14 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 5～6.5 |
| ④糸調子ダイヤル | オート |

※送りスライドつまみの操作は必要ありません。

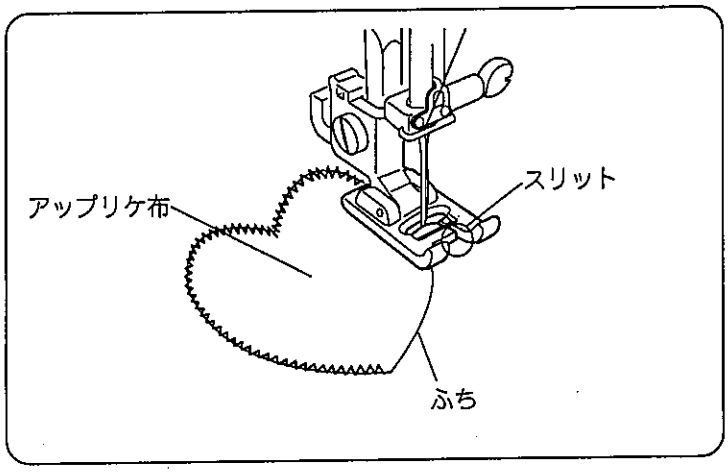



布端と布端の間かくを0.3～0.4cmあけて、下にあて紙をします。
布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。
最後にあて紙をとります。

## ◎アップリケ



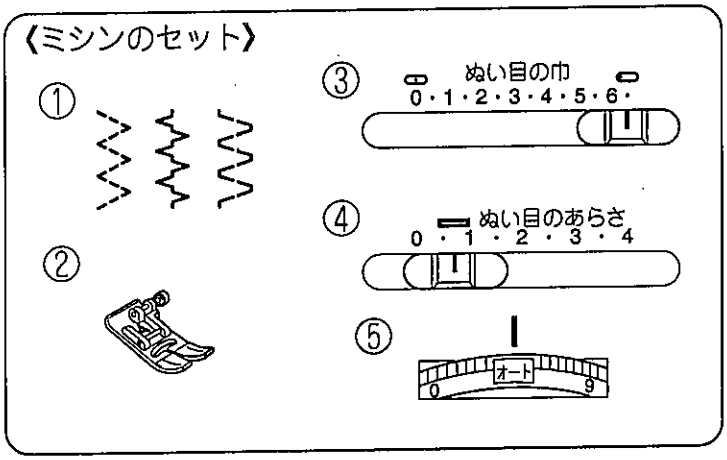

| | |
|---|---|
| ①模様 | 3 |
| ②押さえ圧ダイヤル | 2 |
| ③押さえ | Fサテン押さえ |
| ④ぬい目の巾 | 3～5 |
| ⑤ぬい目のあらさ | 0.5～1 |
| ⑥糸調子ダイヤル | オート |



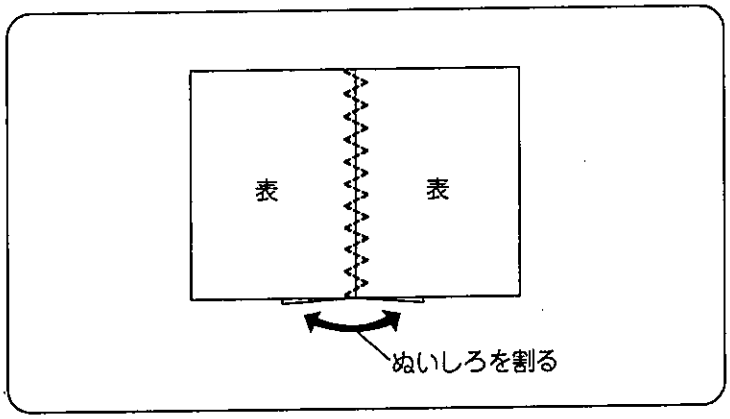

アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。
アップリケ布が針の左にくるようにし、スリットをアップリケ布のふちにそわせながらぬっていきます。

※急角度のところで向きをかえるときは、針をアップリケの布の外側にさしたままでかえると、きれいに仕上がります。
※ぬい終わったら、押さえ圧ダイヤルを「3」にもどします。

## ◎パッチワーク

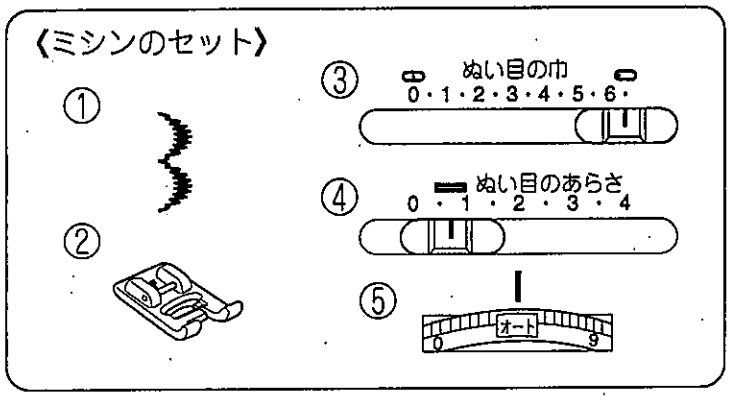



| | |
|---|---|
| ①模様 | 5, 7, 8 |
| ②押さえ | A 基本押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 5～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 0.5～1 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |

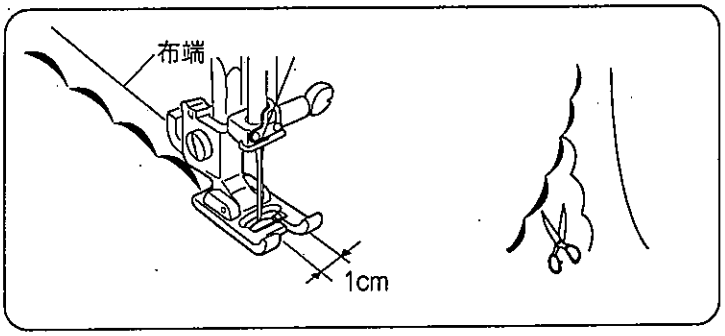



布を中表にあわせ、地ぬいをしてぬいしろを割ります。
布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

## ◎スカラップ



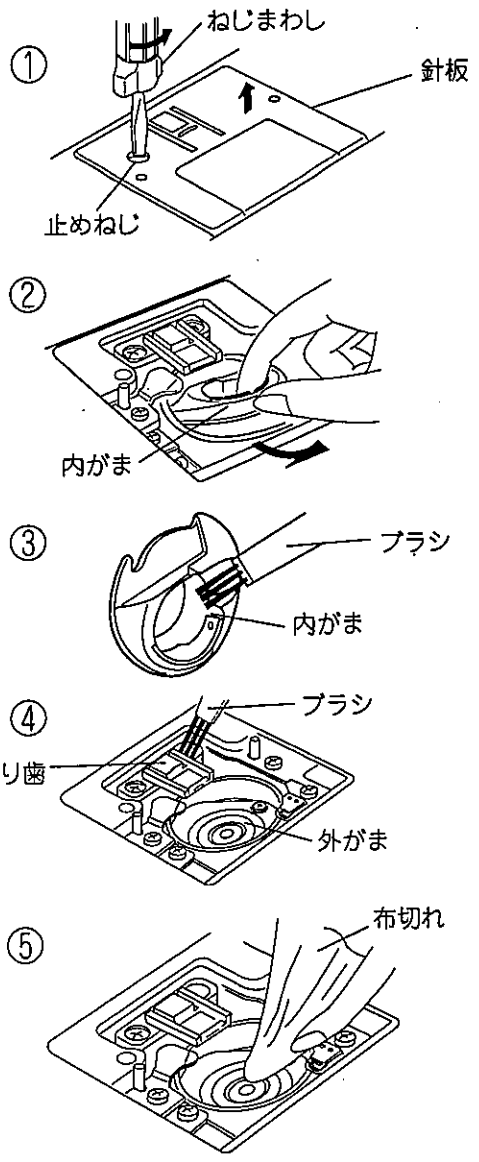

| | |
|---|---|
| ①模様 | 10 |
| ②押さえ | F サテン押さえ |
| ③ぬい目の巾 | 3～6.5 |
| ④ぬい目のあらさ | 0.5～1 |
| ⑤糸調子ダイヤル | オート |




布を表にし布端を 1cm ほど残してぬいます。
糸を切らないように外側の布を切り落とします。

## ●ミシンのお手入れ

### ◎かまと送り歯の掃除




※お手入れのときは…
- 上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 説明されている箇所以外は分解しないでください。

①針と押さえをはずします。
針板止めねじをはずし、針板をはずします。

②ボビンをとり出し、内がまの手前を上に引きながらはずします。

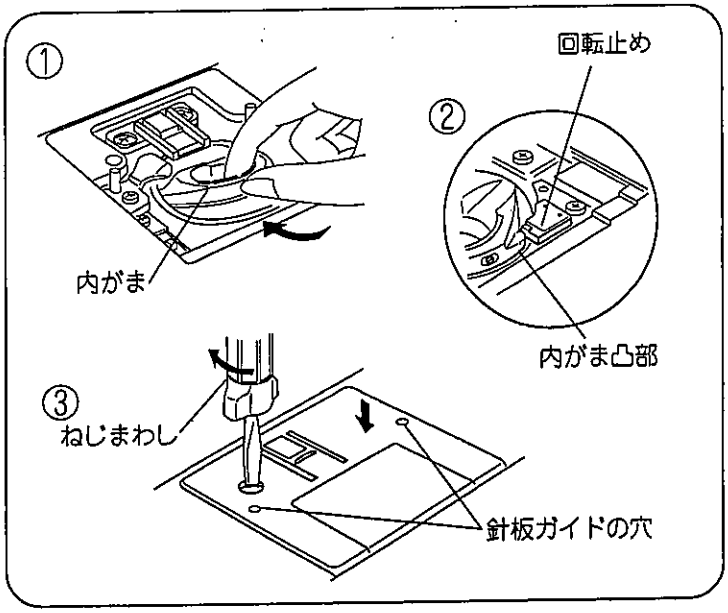
③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸いとってください。

### ◎内がまと針板の組みつけ




①内がまを差し込みます。

②内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

③ボビンを入れ、2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。

※お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえをつけてください。

## ●ミシンの調子が悪いときの直し方

| 調子が悪い場合 | そ の 原 因 | 直し方 |
|---|---|---|
| 上糸が切れる。 | 1．上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。<br>2．上糸調子が強すぎる。<br>3．針が曲がっていたり、針先がつぶれている。<br>4．針のつけ方がまちがっている。<br>5．ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。<br>6．ぬい終わったとき、布を手前に引いている。<br>7．針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 | 13ページ参照<br>16ページ参照<br>10ページ参照<br>10ページ参照<br>18ページ参照<br>18ページ参照<br>10ページ参照 |
| 下糸が切れる。 | 1．下糸の通し方が、まちがっている。<br>2．内がまの中に、ごみがたまっている。<br>3．ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 | 12ページ参照<br>39ページ参照<br>ボビンを交換する |
| 針がおれる。 | 1．針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。<br>2．針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。<br>3．ぬい終わったとき、布を手前に引いている。<br>4．布にくらべて針が細すぎる。 | 10ページ参照<br>10ページ参照<br>18ページ参照<br>10ページ参照 |
| ぬい目がとぶ。 | 1．針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。<br>2．布に対して、針と糸があっていない。<br>3．伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。<br>4．上糸のかけ方がまちがっている。<br>5．品質の悪い針を使用している。 | 10ページ参照<br>10ページ参照<br>10ページ参照<br>13ページ参照<br>針を交換する |
| ぬい目がしわになる。 | 1．上糸調子があっていない。<br>2．上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。<br>3．布にくらべて針が太すぎる。<br>4．布にくらべてぬい目があらすぎる。<br>5．押さえ圧があっていない。<br>＊特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。 | 16ページ参照<br>12,13ページ参照<br>10ページ参照<br>ぬい目を細かくする<br>7ページ参照 |
| 布送りがうまくいかない。 | 1．送り歯に糸くずがたまっている。<br>2．ぬい目が細かすぎる。<br>3．送り歯があがっていない。 | 39ページ参照<br>ぬい目をあらくする<br>8ページ参照 |
| ぬい目にみぞができる。 | 1．上糸調子が弱すぎる。<br>2．糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。 | 16ページ参照<br>10ページ参照 |
| ミシンがまわらない。 | 1．コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。<br>2．かまに、糸やごみがたまっている。<br>3．糸巻き軸が、下糸をまいたあと、元にもどっていない。（糸巻き状態になっている）<br>4．コントローラを接続したままでスタート・ストップボタンを押している。 | 6ページ参照<br>39ページ参照<br>11ページ参照<br>6ページ参照 |
| オートボタンホールがうまくいかない。 | 1．布に対して、ぬい目のあらさがあっていない。<br>2．伸縮性のある布のとき、のびない芯地を使っていない。 | 26ページ参照<br>24ページ参照 |
| 音が高い。 | 1．かまの部分に、糸くずがまき込まれている。<br>2．送り歯に、ごみがたまっている。 | 39ページ参照<br>39ページ参照 |
| ぬいずれがおこる。 | 1．押さえ圧が、あっていない。 | 7ページ参照 |

| 仕　様 | |
|---|---|
| 使用電圧 | 100V　50/60Hz |
| 消費電力 | 55W/ランプ5W |
| 外形寸法 | 幅41cmX奥行19cmX高さ29cm |
| 重量 | 9.0Kg（本体） |
| 使用針 | 家庭用　HAX1 |
| 縫速度 | 毎分700回転 |

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

## お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国１６０の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。
★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。
★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎ 03 (3277) 2200
〒 104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1

池袋支店　☎ 03 (3987) 5266
〒 170-0013 東京都豊島区東池袋 1-28-7

西東京支店　☎ 03 (3337) 0482
〒 166-0001 東京都杉並区阿佐ヶ谷北 2-36-1

八王子支店　☎ 0426 (42) 0777
〒 192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-12

横浜支店　☎ 045 (842) 3816
〒 233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-13-18

千葉支店　☎ 043 (222) 5121
〒 260-0012 千葉県千葉市中央区本町 1-5-14

船橋支店　☎ 0474 (32) 2785
〒 273-0011 千葉県船橋市湊町 2-1-8

大宮支店　☎ 048 (641) 2975
〒 330-0841 埼玉県大宮市東町 1-66-1 第３開新社ビル１F

川越支店　☎ 0492 (22) 2454
〒 350-0043 埼玉県川越市新富町 1-12-12

高崎支店　☎ 027 (324) 0055
〒 370-0831 群馬県高崎市新町 118

富山支店　☎ 076 (431) 8827
〒 930-0029 富山県富山市本町 3-25

三条支店　☎ 0256 (32) 1737
〒 955-0071 新潟県三条市本町 4-1-8

長野支店　☎ 026 (228) 1491
〒 380-0928 長野県長野市若里 3-1-43

仙台支店　☎ 022 (249) 4161
〒 982-0011 宮城県仙台市太白区長町 5-3-25

郡山支店　☎ 024 (932) 3362
〒 963-8024 福島県郡山市朝日 1-13-2 朝日吉田ビル

盛岡支店　☎ 019 (624) 6741
〒 020-0021 岩手県盛岡市中央通 2-9-20

名古屋支店　☎ 052 (733) 5116
〒 466-0027 愛知県名古屋市昭和区阿由知通 1-12-3

津支店　☎ 059 (228) 4900
〒 514-0041 三重県津市八町 1-1-10

清水支店　☎ 0543 (66) 7050
〒 424-0815 静岡県清水市江尻東 3-1-1

大阪支店　☎ 06 (6583) 8031
〒 552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町 3-1-4

奈良郡山支店　☎ 0743 (54) 3060
〒 639-1012 奈良県大和郡山市城見町 2-4

和歌山支店　☎ 0734 (31) 6216
〒 640-8033 和歌山県和歌山市本町 2-12

尼崎支店　☎ 06 (6432) 3307
〒 661-0041 兵庫県尼崎市武庫の里 1-12-3

加古川支店　☎ 0794 (23) 9980
〒 675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町 75-8

西陣支店　☎ 075 (461) 7940
〒 602-8276 京都府京都市上京区千本通上長者町上ル百万遍町 89

岡山支店　☎ 086 (222) 8896
〒 700-0814 岡山県岡山市天神町 1-26

広島支店　☎ 082 (228) 5181
〒 730-0016 広島県広島市中区幟町 15-9

観音寺支店　☎ 0875 (25) 2887
〒 768-0060 香川県観音寺市駅通り甲 1017-5

福岡西新支店　☎ 092 (821) 6495
〒 814-0002 福岡県福岡市早良区西新 2-6-2

熊本支店　☎ 096 (354) 6523
〒 860-0845 熊本県熊本市上通り町 8-15

長崎支店　☎ 095 (849) 6025
〒 852-8107 長崎県長崎市浜口町 3-8

(株) ジャノメ北海道販売　札幌本店　☎ 011 (861) 5634
〒 003-0027 札幌市白石区本通３丁目北 1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

## 本社移転のお知らせ

平素は弊社製品のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。
さて、この度、弊社は下記に本社を移転することとなりましたので
お知らせ申し上げます。
今後とも一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

◉移転先

住　所　〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
電　話　お客様相談室 0120 − 026 − 557（フリーダイヤル）
　　042 − 661 − 2600
受付　平日 9：00～12：00 13：00～17：00
　　（土・日・祝日・年末年始を除く）
ホームページ　http://www.janome.co.jp
メールでのお問い合わせ customer@gm.janome.co.jp

◉移転日

2009 年 7 月 6 日

※旧住所　〒104-8311 東京都中央区京橋 3 丁目 1 番 1 号
旧電話　お客様相談室 0120 − 026 − 557（フリーダイヤル）変更なし
　　03 − 3277 − 2200

**蛇の目ミシン工業株式会社**

101013002